

CSRの取組 | **社会貢献活動**

Philanthropic Activities

2015

社会貢献活動 目次

・社会貢献活動	1
・動画でわかる社会貢献活動	3
・理念・方針	4
・社会貢献活動事例	6
・三菱電機SOCIO-ROOTS（ソシオルーツ）基金	8
・社会福祉活動	14
・里山保全プロジェクト	18
・地球環境保全活動	21
・科学技術	23
・小・中・高校向け理科教育推進活動	25
・文化芸術・スポーツ	27
・バスケットボールチームによる社会貢献活動	30
・アメリカンフットボールチームによる社会貢献活動	32
・テニスチームによる社会貢献活動	34
・バドミントンチームによる社会貢献活動	39
・北海道・東北	41
・関東	44
・中部	50
・関西	55
・中国・四国	59
・九州・沖縄	63
・アメリカ	67
・ヨーロッパ・アフリカ	69
・アジア・オセアニア	77
・米国三菱電機財団	88
・タイ国三菱電機財団	91
・災害支援・復興支援	93
・2009年以前の災害支援情報	94
・どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援	96
・スポーツチームによる復興支援	98
・東日本大震災への対応	101
・これまでのあゆみ	102

社会貢献活動



トピックス

- ▶ 「里山保全プロジェクト」と「みつびしでんき野外教室」の取り組みが、文部科学省から表彰されました。
- ▶ 平成26年8月豪雨による広島土砂災害に対する追加支援について
- ▶ 三菱電機グループで共有する社会貢献活動の新「理念・方針」
- ▶ 「理科教育推進活動」を行っています。
- ▶ 「どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援」を行っています。

▶ 理念・方針

理念・方針のほか、体制や活動分野についてご紹介いたします。



動画でわかる
三菱電機の
社会貢献活動

▶ [動画ページへ](#)

▶ 社会貢献活動事例

三菱電機では、以下の4分野を中心に社会貢献活動を推進しています。

地域に根ざした活動

社会福祉

地球環境保全

次世代の人材を
はぐくむ活動

科学技術

文化芸術・スポーツ

▶ 財団のご紹介



▶ [米国三菱電機財団](#)



▶ [タイ国三菱電機財団](#)

▶ 災害支援・復興支援

▶ これまでのあゆみ

更新情報

- ▶ 2015年09月29日 [台風18号等による大雨災害に対する支援について](#)
- ▶ 2015年06月08日 [社会貢献活動を定期更新しました。](#)
- ▶ 2015年05月08日 [ネパールで発生した地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2014年10月27日 [平成26年8月豪雨による広島土砂災害に対する追加支援について](#)
- ▶ 2014年08月29日 [広島土砂災害に対する支援について](#)
- ▶ 2014年08月11日 [中国雲南省で発生した地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2014年05月30日 [社会貢献活動を定期更新しました。](#)
- ▶ 2014年03月28日 [「当社スポーツチームによる活動」を更新しました。](#)
- ▶ 2014年01月08日 [「小・中・高校向け理科教育推進活動」を更新しました。](#)
- ▶ 2013年11月12日 [フィリピン・台風ハイエン（台風30号）の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2013年05月31日 [社会貢献活動を定期更新しました。](#)
- ▶ 2013年05月24日 [「どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援」について掲載しました。](#)
- ▶ 2013年04月23日 [中国・四川省地震の被害に対する支援について](#)

動画でわかる社会貢献活動

社会貢献活動への取り組み ～ひとりひとりの小さな一歩から～



社会貢献活動への取り組み
～ひとりひとりの小さな一歩から～（全編）

 動画を見る 

[約13分]

社会福祉
三菱電機SOCIO-
ROOTS基金のご紹介



 動画を見る 

[約04分]

地球環境保全
里山保全プロジェクトの
ご紹介



 動画を見る 

[約04分]

海外財団のご紹介



 動画を見る 

[約03分]

理念・方針

<理念>

三菱電機グループは、社会の要請と信頼に応える良き企業市民として、持てる資源を有効に活用し、従業員とともに、豊かな社会づくりに貢献する。

<方針>

- 社会福祉、地球環境保全の分野において、社会のニーズを反映し、地域に根ざした活動を行う。
- 科学技術、文化芸術・スポーツへの支援活動を通じ、次世代の人材を育む活動を行う。

体制図



1990年に「社会貢献活動委員会」を発足させ、それまで事業所ごとに行われてきた社会貢献活動をもとに、「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」をはじめとする全社的な取組みを開始しました。1991年には米国とタイに財団を設立し、「社会福祉」や「科学技術」の分野で活動を進めています。

委員会発足以来、地域に根ざした活動を推進し、国内各事業所はもとより、国内外関係会社においても、様々な社会貢献活動を展開しています。

地域に根ざした活動

社会福祉

三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金を柱に、障がい者や高齢者の方を支援しています。この制度には毎年多くの社員が参加し、これまでに累計で1,700以上の社会福祉施設で寄付を実施してきました。

▶ 詳しくはこちら

地球環境保全

日頃の事業活動によって発生させる環境負荷を社員一人一人が認識し、自ら汗をかいて環境保全の重要性を示すことを狙いとして、事業所近郊の自然環境を回復する「里山保全プロジェクト」を推進しています。

▶ 詳しくはこちら

次世代の人材をはぐくむ活動

科学技術

次世代の新技术を担っていく若い人たちの向学心や探求心を応援するため、出前授業や工作教室、科学教室などで、子どもたちに当社製品の基礎技術をわかりやすく伝えています。

▶ 詳しくはこちら

文化芸術・スポーツ

人生を「豊かに」「楽しく」おくるため、グローバルに広がる文化・スポーツの分野でも、子どもたちや地域の方々はその素晴らしさを伝えています。

▶ 詳しくはこちら

社会貢献活動事例

三菱電機では、豊かな社会の実現とその持続的な発展のため、社会の幅広い層と力を合わせ、持てる資源を有効に活用しながら、社会的課題の解決に向けた社会貢献活動を展開しています。

全社的な取り組みを推進する一方で、各事業所と地域とのコミュニケーションから生まれたユニークな活動も数多く実施しています。

各活動分野での事例を見る

地域に根ざした活動

社会福祉

「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」を柱に、全国で人に優しい活動を実施しています。

[▶ 詳しくはこちら](#)

地球環境保全

社員自ら汗をかき、環境保全活動に取り組んでいます。

[▶ 詳しくはこちら](#)

次世代の人材をはぐくむ活動

科学技術

次世代の新技术を担っていく若い人たちに応援しています。

[▶ 詳しくはこちら](#)

文化芸術・スポーツ

こどもたちや地域の方々に、文化やスポーツの素晴らしさを伝えています。

[▶ 詳しくはこちら](#)

各地域での活動を見る

地域別の活動事例をご覧ください。



社会福祉

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▼ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

三菱電機SOCIO-ROOTS（ソシオールーツ）基金

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」を社会福祉分野の柱として、障がい者や高齢者のみなさんを積極的に応援しています。



お知らせ

- ▶ 2014年度は合計で57,551,560円の寄付を行いました。
- ▶ 2014年9月、当基金は広島土砂災害への支援として「広島市8・20豪雨災害義援金」および社会福祉法人広島県共同募金会へ合計11,370,304円を寄付しました。
- ▶ 2014年3月、当基金による寄付金額が累計で10億円を突破しました。

概要

1992年に開始した「三菱電機SOCIO-ROOTS（ソシオールーツ）基金」は、社員からの寄付に対して会社が同額を上乗せ（マッチング）し、社会福祉施設や団体に拠出する**マッチングギフト制度**です。善意の寄付を倍にするこの基金には毎年多くの社員が参加しており、2015年3月時点で累計約1,700件、金額にして約10億8千万円を寄付しています。

全国の事業所にその支部を置き、社員の善意を各地域の社会福祉施設などへお届けするお手伝いをしています。設立当初から各都道府県の共同募金会にお世話いただいており、寄付先の紹介をはじめ、地域ニーズ把握などの面でご協力いただいております。

一人一人の思いやりが大きなサポートとなり、社会で多くの笑顔の花を咲かせられるよう、「草の根的な募金活動」という意味を名前に持つ当基金は、着実に地域に根ざした活動を続けていきます。

動画でわかる社会貢献活動
**三菱電機
SOCIO-ROOTS
（ソシオールーツ）基金**



動画を見る



設立のきっかけ

本基金が生まれたきっかけは、「香典返しを是非、福祉施設で役立ててもらいたい」という社員の強い申し出でした。そのような善意を会社としても大切にしたい、何かバックアップできないかと検討を重ねた結果、1992年に全国規模で基金を立ち上げました。以来、行政の手が回らず困っている社会福祉施設を支援の対象とし、寄付先のニーズに合わせた活動を継続しています。

寄付事例

各事業所では社員が気軽に寄付できるよう、募金活動にも工夫をこらしています。チャリティーバザーやチャリティーオークション、自動販売機を活用した募金活動など、それぞれの事業所に合った活動を行っています。

「しゃべるテレビ」の寄贈 ～当社の強みを活かした製品を～



電子番組や操作メニュー等を音声で読み上げできる当社の液晶テレビREAL（しゃべるテレビ）を、視覚に障がいのある方たちを支援するため寄贈しています。

▶ [「しゃべるテレビ」とは](#)

「命のバトン」設置事業に協力（愛知県稲沢市） ～地域のニーズに根ざした活動を～



独居世帯が増えた社会的背景を受け、2011年に稲沢市社会福祉協議会が開始した「命のバトン」※設置事業に、ソシオルーツ基金からの寄付が役立てられています。

 [「命のバトン」とは \(PDF : 3,049KB\)](#)

東日本大震災に関する寄付
～社員の想いに応える活動～

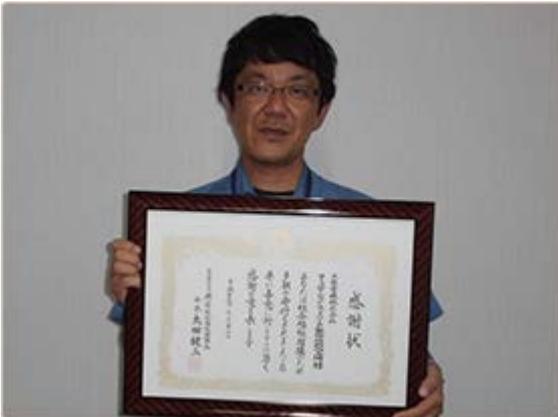


2015年3月 贈呈式の様子

社員からの要望に応え、被災した子どもたちへの支援を継続して行っています。
2011年度から開始し、2015年3月末までに累計1億50万円を寄付しています。

▶ [詳しくはこちら](#)

担当者の声



コミュニケーション・ネットワーク製作所 郡山工場
総務部 近藤 正博

郡山地区では、2004年から毎年、社会福祉法人郡山市社会福祉協議会への寄付を行っています。この度、三菱電機SOCIO-ROOTS基金や年末助け合い運動等を通じた多年にわたる寄付の功績に対し、2014年7月に『郡山市社会福祉大会会長表彰』を受賞いたしました。

2011年3月の東日本大震災において当地区も被災いたしました
が、地域とのつながりを大切にしたいという思いから活動を継続して
おりました。今回の受賞は、従業員が一体となって地道な活動を
続けた結果だと感じ、大変嬉しく思っております。

今後も引き続き地域と連携した活動を行い、地域との共生を更に深
めていきたいと思っております。

協力先の声（社会福祉法人 中央共同募金会）

三菱電機SOCIO-ROOTS基金とのお付き合いが始まった1992年頃は、企業による社会貢献活動が今ほど活発ではありませんでした。そんな中、他の企業に先駆けてマッチングギフト制度を取り入れた三菱電機は、寄付の文化を作る先駆的な存在だったと思います。

共同募金会は、社会福祉の現場と企業との架け橋としてサポートを続けており、善意のネットワークが広がっていくのを見るのは、大変嬉しいものです。

地域の声に耳を傾けながら、着実に実績を残してこられた三菱電機SOCIO-ROOTS基金には、これからも是非、活動を継続して欲しいと思います。



社会福祉法人中央共同募金会ウェブサイト（2013年度の贈呈の様子）



右：社会福祉法人中央共同募金会 副会長 高井 康行様
左：三菱電機SOCIO-ROOTS基金 理事長 大隈 信幸

2014年3月に当基金の累計寄付金額が10億円を超えたことにもない、永年の活動のパートナーである各都道府県の共同募金会を代表し、社会福祉法人中央共同募金会様へ感謝楯を贈呈しました。

2013年3月に、当基金の永年の活動に対し、社会福祉法人 中央共同募金会様より感謝状をいただいています。



東日本大震災について

被災された方々に対し、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

義援金での支援

2011年3月17日から約1ヶ月間実施した募金活動では、社員からの寄付がおよそ1億3千7百万円集まりました。これに会社が同額をマッチングしたおよそ2億7千4百万円を、被災者支援の義援金として2011年4月28日に社会福祉法人 中央共同募金会に寄付しました。

震災遺児をはじめとする被災地のこどもたち支援

東日本大震災の発生後、被災された方への支援を望む社員の声を受け、当基金では震災遺児らを支援するための活動を2011年8月から開始しました。

2011年度は、福島県内の児童養護施設と「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ合計1,700万円を寄贈しました。

2012年度は2011年度の寄付先に加え、「いわての学び希望基金」および「東日本大震災ふくしまこども寄附金」と、震災や津波等で親を亡くした子どもたちの心のケア支援を行っている「NPO法人子どもグリーンサポートステーション」および「あしなが育英会」へ、合計3,350万円の支援を行いました。

2013年度は、昨年度に続き「NPO法人子どもグリーンサポートステーション」と、新規に社会福祉法人中央共同募金会の「東日本大震災 震災遺児修学資金」へ合計3,000万円を寄贈しました。

2014年度は、心のケア活動を展開している「NPO法人 子どもグリーンサポートステーション」（宮城県仙台市）への支援に加え、新規支援先として、学習支援に取り組む「特定非営利活動法人ビーンズふくしま」（福島県福島市）や遊びを通じた居場所づくりに取り組む「特定非営利活動法人パクト」（岩手県陸前高田市）へ、合計2,000万円を寄贈しました。



NPO法人子どもグリーンサポートステーション への贈呈式



特定非営利活動法人ビーンズふくしま への贈呈式



特定非営利活動法人パクト への贈呈式

マッチングギフトとは

「従業員が市民活動団体などへ寄付する場合、企業も同じ対象団体に、同額あるいは一定割合を上乗せして寄付を行う制度」※1

会社が、社員の「寄付しよう」という気持ちを後押しする制度です。たくさんの企業で、マッチングギフト制度が取り入れられています※2。

※1 (社)日本経済団体連合会 企業行動憲章 実行の手引き 第6版

※2 (社)日本経済団体連合会が実施した2012年度社会貢献活動実績調査結果では、回答した420社中、81社が導入済み。

社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保全

 ▶ 科学技術

 ▶ 文化芸術・スポーツ

社会福祉活動

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▼ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

社会福祉活動

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、障がい者や高齢者のみなさんを積極的に応援しています。柱のプログラム（三菱電機SOCIO-ROOTS基金）以外にも、それぞれの事業所で主体的に実施している活動の一部をご紹介します。

独居老人宅枝おろしボランティア（群馬県太田市）



三菱電機群馬ボランティア会では、一人暮らしをしているご年配者宅の樹木剪定を1998年から毎年行っています。毎回、30名ほどの会員が樹木の伸び具合に応じて庭木の枝おろしをしています。

剪定が終わった後で、家主から「ありがとう」と言ってもらうと、とてもすがすがしい気持ちになります。

あしながPウォーク10（石川県金沢市）

北陸支社では、地球規模の遺児支援のボランティア活動「あしながPウォーク10」の金沢コースに、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」とともに参加しています。この活動では参加費が「あしなが育英会」に寄付され、教育支援活動費用として活用されます。私たち自身が社会貢献活動について考える良い機会となっています。



ブラインドテニス交流イベント（兵庫県神戸市）



ファルコンズにとって初めてとなるブラインドテニス※の交流イベントを、2015年6月6日に兵庫県神戸市にある「神戸視力障害センター」で開催しました。参加者は、兵庫県内や大阪府などからのブラインドテニス愛好者や、全盲でテニスそのものが初めての方、一般の方など約20名です。ファルコンズのコーチと選手3名がテニスの打ち方や体の動かし方、体重移動の仕方についてアドバイスしたほか、晴眼者によるブラインドテニス体験や、視覚障がいを持つ方とのダブルス戦などを行いました。



ブラインドテニス愛好者から「ボールが良く飛ぶようになった」、「サーブの打ち方がわかった」等の声をいただくとともに、晴眼者からも「初めてブラインドテニスを体験し未知の世界を体験することができた。非常に良い経験だった」と喜んでいただくことができました。障がいを持つ方と健常者が同じコートでプレイし交流することで、テニスというスポーツの可能性を広げていくイベントとなりました。

※ 1990年に日本で生まれたスポーツで、音の出るよう工夫されたスポンジボールを、プレーヤー同士がラケットで打ち合い、ネットの上を行き来させる競技スポーツです。（日本ブラインドテニス連盟 HP参照）

車いすテニスクリニック（兵庫県三木市）

三菱電機テニス日本リーグチーム「ファルコンズ」は、日本テニス協会ナショナルコーチ及び兵庫県車いすテニス協会のご支援のもと、「車いすテニスクリニック」を2010年から開催しています。当イベントへは、兵庫県など関西からの車いすテニス愛好家が参加し、一緒に心地よい汗をかいています。テニスを通じて、健常者と障がい者がコミュニケーションを図ることができ、互いの理解を深めることの大切さを学んでいます。



- ▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports（テニス）](#)
- ▶ [当社スポーツチームによる社会貢献活動](#)

知的障がい者の方の施設で奉仕活動（兵庫県赤穂市）



赤穂地区では、赤穂市立知的障害者授産施設での奉仕活動を、1996年から毎年実施しています。

赤穂工場で製造している変圧器から出た廃材の処理（銅線に巻かれている絶縁紙を取り除く作業）を当施設に委託していることから、廃材処理の指導と施設周辺の草刈りを実施しています。毎回、利用者と楽しく会話しながら爽やかな汗を流しています。

絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

三菱電機ビルテクノサービスは、手の自由を失った世界各国の画家が、口や足に絵筆をとり丹精を込めて描いた絵画を展示する「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」を毎年、全国各地で開催しています。

三菱電機ビルテクノサービスと「口と足で描く芸術家協会」に所属する画家が描いた作品との出会いは1991年。東京都小平市にある研修施設の宿泊所に掲額する目的で、作品を購入したのが始まりです。社員たちは、口や足に絵筆をとって懸命に描いた絵画に大変感動し、近隣の方にも鑑賞していただこうと、1992年に同施設内で手作りの絵画展を開催しました。ここでの大きな反響をきっかけに、1994年からは全国展へと活動を広げ、以来、社員やその家族がボランティアで運営を行いながら活動を継続しています。



▶ [詳細はこちら](#) 

支援学校からの実習生受け入れ（三菱電機ライフサービス株式会社 熊本支店）



会社近隣の「熊本県立ひのくに高等支援学校」への訪問がきっかけとなり、2013年の秋から同校に通う知的障がいを持つ生徒を、清掃や緑化業務等の実習生として毎年受け入れています。

初めて受け入れた時には不安もありましたが、どの生徒も真面目にひたむきに作業に取り組んでおり、指導を行う従業員にとっては自らの仕事を見つめなおす良い機会となっています。2014年と2015年には、1名ずつ実習の受け入れから採用につなげることができました。今後も実習を中心に、学校や地域との関わりを大切にしていきます。

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

地球環境保全

地域に根ざした活動

▶ 社会福祉 | ▼ 地球環境保全

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 科学技術 | ▶ 文化芸術・スポーツ

📌 里山保全プロジェクト

📌 地球環境保全活動

里山保全プロジェクト

三菱電機では、事業活動で地球環境に配慮するだけでなく、社員が主体となって、行政や地域のみなさんに理解いただきながら環境保全活動に取り組んでいます。

柱のプログラムとなる「里山保全プロジェクト」の活動をご紹介します。

お知らせ

「里山保全プロジェクト」と「みつびしでんき野外教室」の取り組みが、文部科学省による「平成26年度『青少年の体験活動推進企業表彰』」の審査委員会奨励賞を受賞しました。

2013年4月、本社地区の活動「富士山育林ボランティア」に対して、活動の協力先である[住友林業株式会社](#)から感謝状をいただきました。

概要

2007年10月から、事業所周辺の公園や森林、河川などの"身近な自然"を回復する活動「里山保全プロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトの狙いは、多様な生命を育み、様々な恵みを与えてくれる自然へ「恩返し」するとともに、事業所のある地域に貢献することです。「地道と継続」をキーワードに、各地域の状況に合った活動を段階的に展開しています。

社員自らが汗をかき、安心・安全な地域づくりに参画することで、地域の方々とのコミュニケーションを深めていきたいと考えています。

動画でわかる社会貢献活動
里山保全プロジェクト



里山保全プロジェクト

📺 動画を見る 📄

表彰

2015年2月、「里山保全プロジェクト」と「みつびしでんき野外教室」の取り組みが、文部科学省主催「平成26年度『青少年の体験活動推進企業表彰』」の審査委員会奨励賞を受賞しました。

従業員とその家族が里山保全活動で整備した森林などを野外教室で活用することで、活動に参加するこどもたちは一層、生き物の偉大さや自然の循環について理解を深めることができます。今後も、これらの活動を通じて青少年の環境マインド育成に取り組んでいきます。



左：文部科学省 大臣官房審議官 芦立 訓 様
右：三菱電機株式会社 総務部長 原田 真治

各地域での活動紹介

全国の事業所で、それぞれの地域に応じた里山保全活動を実施しています。



社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ

地球環境保全

地域に根ざした活動

▶ [社会福祉](#) | ▼ [地球環境保全](#)

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ [科学技術](#) | ▶ [文化芸術・スポーツ](#)

里山保全プロジェクト以外にも、各事業所で積極的に取り組んでいる活動があります。ここでは、その取り組みの一部をご紹介します。

みつびしでんき野外教室

自然を大切にする心「環境マインド育成」のため、野外教室を開催しています。地域の子どもたちにも参加してもらい、喜んでいただいています。

▶ [みつびしでんき野外教室についてはこちら](#)

活動の様子



▶ [まるやま自然探検隊（北海道札幌市）](#)



▶ [みつびしでんきおやこ野外教室（京都府長岡京市）](#)

里山保全活動（石川県金沢市）

北陸支社は、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」の社会貢献活動として、2009年から、能美市内でサクラ・コナラ植栽地の下草刈りを行っています。地元の緑化推進委員会の方にご指導いただきながら、使い慣れない鎌で草刈りを行い、活動に取り組んでいます。



近隣小学校への「環境出張教育」（神奈川県鎌倉市）



鎌倉製作所は毎年、近隣小学校の生徒を対象に、社員が先生となって「環境出張教育」を実施しています。小学生の環境マインド育成を目的とし、社員ひとりひとりが取り組んでいる様々な取り組みを紹介しています。

また、当社が2011年に打ち上げた商用通信衛星や、宇宙ステーションに物資を運ぶ「HTV」をはじめとした人工衛星についても一緒に紹介しています。

授業が、こどもたちの環境に対する芽を育むきっかけになればと思います。

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

科学技術

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▼ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

次世代の新技术を担っていく若い人たちの向学心や探究心を伸ばすため、学術支援のための寄付金や奨学金といった支援に加えて、近年では社員が主体となって進める「科学教室」や「科学工作教室」などで未来のエンジニアの卵を応援しています。

科学教室



電機メーカーならではの社会貢献活動として、こどもたちに当社製品のしくみを「キーテクノロジー」として伝える「科学教室」を、2010年から段階的に実施しています。

実験に参加したり、クイズに答えたりして、こどもたちに科学を楽しみながら学んでもらっています。



地域での活動

中津川製作所（岐阜県） 稲沢製作所（愛知県） 受配電システム製作所（香川県） 長崎製作所（長崎県）
京都製作所（京都府） 福山製作所（広島県） パワーデバイス製作所（熊本県） 九州支社（福岡県）
静岡製作所（静岡県）

小・中・高校向け理科教育推進活動

2009年度から「小・中・高校向け理科教育推進活動」をスタートさせました。「理系離れ・理工系離れ」が指摘される中、理科に興味をもってもらうため、当社人材開発センターでは、学校での出前授業や理科実演イベントの開催などを行っています。電気や熱、音や風、光、といった基本原理、通信や情報の仕組みなどをわかりやすく学べるテーマを採り上げています。「理科大好き人間」を育てたい、という熱い思いを胸に、関係者一同頑張っています。

▶ [詳しくはこちら](#)



各事業所の特長を活かした活動

- ▶ 子ども科学工作教室（長野県飯田市）
- ▶ 音の日「ダイヤトーン」（兵庫県三田市）
- ▶ 北海道支社 × HTBサイエンス教室（北海道札幌市）
- ▶ 子どもたちのための宇宙講座（三菱プレジジョン株式会社）
- ▶ 地元イベントでの「サイエンスゼミナール」（ミヨン電子株式会社）

社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保全

 ▶ 科学技術

 ▶ 文化芸術・スポーツ

小・中・高校向け理科教育推進活動

理科教育推進活動の一部をご紹介します！

「電磁誘導って何？」

地磁気で発電させたり、IHクッキングヒーターでLEDを点灯させる実験を通じて、電磁誘導（磁界が変化すると電気ができること）について学びます。



「熱の伝わり方」

ボトルの中に雲をつくったり、ヒートパイプで氷を切ったりする実験を通じて、材料による熱伝導率の違い、さらにはヒートパイプの原理を理解します。

「君も通信エンジニア」

通信の歴史をひもときながら、モールス信号や電話機等、いろいろな通信の原理を実験を通じて体験し、さらには光や電波を使った現在の通信装置のしくみを学習します。



「プログラミングの基本を学ぼう」

コマンドブロックを並べてロボットを動かす「アルゴリズム」というゲームを通じて、プログラミングの基礎となるアルゴリズムを楽しく学ぶ。

※ PCの利用環境がないと実施できません。

当社ではこうした活動を、

- 学校に出向いて授業の一環として
- 社外一般イベントに参加して
- 尼崎市での当社イベントにて

といった様々なスタイルで展開しています。

理科教育推進活動に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

【お問い合わせ窓口】 [三菱電機株式会社 人事部 人材開発センター 計画グループ](#)

■ [科学技術振興のその他の活動はこちら](#)

文化芸術・スポーツ

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

- ▶ [社会福祉](#) | ▶ [地球環境保全](#) | ▶ [科学技術](#) | ▼ [文化芸術・スポーツ](#)

- ▶ [バスケットボールチーム](#) ▶ [アメリカンフットボールチーム](#) ▶ [テニスチーム](#) ▶ [バドミントンチーム](#)

人生を「豊かに」「楽しく」おくるため、グローバルに広がる文化芸術・スポーツの分野でも、子どもたちや地域の方々にその素晴らしさを伝えています。

当社スポーツチームによる活動

バスケットボール



三菱電機男女バスケットボールチームは、各地で開催される小・中学生を対象としたバスケットボール教室に、コーチ・選手を定期的に派遣し、バスケットボール普及のために積極的に活動しています。

▶ [詳しい活動内容はこちら](#)

- ▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports \(男子・女子バスケットボール\)](#)
- ▶ [スポーツチームによる復興支援](#)

<関連サイト>



- ▶ [三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋後援会サイト \(男子\)](#)



- ▶ [三菱電機コアラーズ後援会サイト \(女子\)](#)

アメリカンフットボール



東日本大震災の復興支援ボランティアとして、東北でアメフトパワーを活かした活動を行っています。

チアリーダーによるダンスパフォーマンスも披露し、地元のみなさんに喜んでいただいています。

▶ [詳しい活動内容はこちら](#)

- ▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports \(アメリカンフットボール\)](#)
- ▶ [スポーツチームによる復興支援](#)

<関連リンク>



- ▶ [オール三菱ライオンズ チームオフィシャルサイト](#) 

テニス



三菱電機テニスチームに所属するプロ選手や社員選手が、全国でテニスクリニックを実施しています。

プロ選手のサービスリターンにチャレンジなど楽しいイベントがあり、参加者のみなさんにはいつも大変喜んでいただいています。

▶ [詳しい活動内容はこちら](#)

- ▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports \(テニス\)](#)
- ▶ [スポーツチームによる復興支援](#)
- ▶ [車いすテニスクリニック](#)
- ▶ [ブラインドテニス交流イベント](#)

バドミントン



日本リーグで活躍する三菱電機バドミントンチーム「ダイヤモンドウイングス」は、バドミントンの普及と地域貢献を目的に、チームの拠点がある兵庫県内で主に活動を行っています。講習会や、高校生等の練習参加受け入れによる選手強化に協力し、バドミントンのおもしろさを伝えています。

[▶ 詳しい活動内容はこちら](#)

[▶ 三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports \(バドミントン\)](#)



[▶ 三菱電機スポーツポータルサイト D Sports](#)

三菱電機のスポーツ活動を紹介するスペシャルサイトです。最新の試合結果やニュース、イベント情報等をご紹介します。

社会貢献活動分野

[▶ 社会福祉](#)

[▶ 地球環境保全](#)

[▶ 科学技術](#)

[▶ 文化芸術・スポーツ](#)

文化芸術・スポーツ

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 社会福祉 | ▶ 地球環境保全 | ▶ 科学技術 | ▼ 文化芸術・スポーツ

▼ バスケットボールチーム ▶ アメリカンフットボールチーム ▶ テニスチーム ▶ バドミントンチーム

バスケットボールチームによる社会貢献活動

三菱電機男女バスケットボールチーム「三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋」と「三菱電機コアラーズ」は、各地で開催される小・中学生を対象としたバスケットボール教室に、コーチ・選手を定期的に派遣し、バスケットボール普及のために積極的に活動しています。2000年以前から活動を継続しており、累計実施回数は269回、参加者数は17,044名を超えます。このほか、地域での様々なイベントに参加し、チアリーダーによる活動も行っています。

中部地区でのクリニック

チームの拠点がある地元のみなさんに愛されるチーム作りを目指し、名古屋市での活動を中心に児童や小学生、中学生を対象としたクリニックを数多く行っています。

クリニックでは、参加者全員に楽しんでもらえるよう、積極的にこどもたちに話しかけたり、こどもたちが好きなメニューを取り混ぜ指導したりしています。

クリニックを通じて、人とのむすびつきや、礼儀、あきらめない気持ちなども学んでもらえることを願いながら、毎回楽しんで活動しています。



北海道ミニバスケットボールクリニック



当社の北海道支社が開催するミニバスケットボールクリニックに、2001年から選手を派遣しています。

これは、北海道ミニバスケットボール夏季交歓大会にあわせて行うもので、毎回100名を超えるこどもたちがプロ選手のプレイを体験しています。

宮城県でのミニバスケットボールクリニック

1996年から2007年まで宮城県で開催していたクリニックを、2011年の東日本大震災を機に、復興支援の一環として再開しました。3年振りのクリニックに、継続を望む声に参加者のみなさんから多く寄せられ、以来、毎年行っています。

男女選手やコーチが、毎回小学生約100名を対象に、基礎練習やフリースロー大会、選手との交流試合やサイン会を行っています。また、技術レベルの高い指導に、こどもたちだけでなく保護者のみなさんからも大変喜ばれています。



地域での活動



地域に密着したチームとして、クリニック以外の活動にも参加しています。

地元の区役所が実施する街頭啓発活動や高齢者向けのエクササイズ、愛知県内で開催される祭りなどの各種イベントに、選手やチアリーダーを派遣しています。



▶ 三菱電機スポーツポータルサイト D Sports

三菱電機のスポーツ活動を紹介するスペシャルサイトです。最新の試合結果やニュース、イベント情報等をご紹介します。

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

文化芸術・スポーツ

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 社会福祉 | ▶ 地球環境保全 | ▶ 科学技術 | ▼ 文化芸術・スポーツ

▶ バスケットボールチーム ▼ アメリカンフットボールチーム ▶ テニスチーム ▶ バドミントンチーム

アメリカンフットボールチームによる社会貢献活動

株式会社三菱東京UFJ銀行、東京海上日動火災保険株式会社、三菱電機株式会社の3社合同チーム「オール三菱ライオンズ」は、日本社会人アメリカンフットボール協会を通じてイベントに参加し、アメリカンフットボールの楽しさを伝えるほか、2012年からは被災地の復興支援も行っています。また、チアリーダーも様々なイベントに参加し、華麗なダンスパフォーマンスで多くの方々を魅了しています。

東日本大震災の復興支援ボランティア

東日本大震災の復興支援ボランティアとして、東北でアメフトパワーを活かした活動を行っています。

2012年には、宮城県の南三陸歌津地区で土嚢づくりや丸太撤去などを行い、仮設住宅でチアリーダーのダンスパフォーマンスを披露しました。

2013年には福島県いわき市にて、耕作放棄地を活用したオーガニックコットン畑での雑草除去と整地作業を行いました。津波被害を受けた道の駅や復興商店街でのチアリーダーのダンスパフォーマンスも、地元のみなさんに喜んでいただくことができました。

2014年も、昨年と同じいわき市内のコットン畑で除草作業や整地、苗の植え付けを行い、津波被害を受けた小名浜市内の総合モールでチアリーダーによるパフォーマンスを披露しました。

選手やスタッフ、チアリーダーにとって、復興に向けて懸命に取り組む地元の方々と交流を持てる貴重な時間となっています。



オーガニックコットン畑での整地作業



チアリーダーのダンスパフォーマンス

市民まつりでのアメリカンフットボールクリニック

日本社会人アメリカンフットボール協会からの依頼により、神奈川県の川崎球場で行われる「かわさき市民祭り」に2012年から参加しています。祭りに来た子どもとその家族に、アメリカンフットボールを体験してもらおうプログラムで、選手や監督等がその楽しさを伝えています。地域のみなさんと触れ合える機会を大切に、活動を行っています。

チアリーダーによる活動



「オール三菱ライオンズ」のチアリーダーがコーチングをしている高校生チームと合同で、2013年12月に、神奈川県横浜市にある障がい者の福祉施設でパフォーマンスを披露しました。

高校生とのコラボレーションは初めてでしたが、多くの方々に喜んでいただくことができました。また、施設のみなさんが声を一緒に出して笑顔で演技に応えてくださる姿に、逆に自分たちが元気をもらいました。



三菱電機スポーツポータルサイト D Sports

三菱電機のスポーツ活動を紹介するスペシャルサイトです。最新の試合結果やニュース、イベント情報等をご紹介します。

社会貢献活動分野

社会福祉

地球環境保全

科学技術

文化芸術・スポーツ

文化芸術・スポーツ

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 社会福祉 | ▶ 地球環境保全 | ▶ 科学技術 | ▼ 文化芸術・スポーツ

▶ バスケットボールチーム | ▶ アメリカンフットボールチーム | ▼ テニスチーム | ▶ バドミントンチーム

テニスチームによる社会貢献活動

三菱電機テニスチーム「三菱電機ファルコンズ」は、社会貢献とテニスの普及を目的に、様々なクリニック活動を積極的に行っています。また、試合にテニス部の学生を招待するなどし、技術だけでなく、プロ選手の試合に挑む力強い気持ちやあきらめない気持ちを伝えています。

車いすテニスクリニック

日本テニス協会ナショナルコーチ及び兵庫県車いすテニス協会のご支援のもと、「車いすテニスクリニック」を2010年から開催しています。

当イベントへは、兵庫県など関西からの車いすテニス愛好家が参加し、一緒に心地よい汗をかいています。テニスを通じて、健常者と障がい者がコミュニケーションを図ることができ、互いの理解を深めることの大切さを学んでいます。



ブラインドテニス交流イベント



ファルコンズにとって初めてとなるブラインドテニス※の交流イベントを、2015年6月6日に兵庫県神戸市にある「神戸視力障害センター」で開催しました。参加者は、兵庫県内や大阪府などからのブラインドテニス愛好者や、全盲でテニスそのものが初めての方、一般の方など約20名です。ファルコンズのコーチと選手3名がテニスの打ち方や体の動かし方、体重移動の仕方についてアドバイスしたほか、晴眼者によるブラインドテニス体験や、視覚障がいを持つ方とのダブルス戦などを行いました。

ブラインドテニス愛好者から「ボールが良く飛ぶようになった」、「サーブの打ち方がわかった」等の声をいただくとともに、晴眼者からも「初めてブラインドテニスを体験し未知の世界を体験することができた。非常に良い経験だった」と喜んでいただくことができました。障がいを持つ方と健常者が同じコートでプレイし交流することで、テニスというスポーツの可能性を広げていくイベントとなりました。



※ 1990年に日本で生まれたスポーツで、音の出るよう工夫されたスポンジボールを、プレーヤー同士がラケットで打ち合い、ネットの上を行き来させる競技スポーツです。（日本ブラインドテニス連盟 HP参照）

復興支援テニスクリニック

「テニスを通して元気になろう」をテーマに、宮城県では2011年から、福島県では2013年から一般のテニス愛好者およびジュニア選手を対象にクリニックを行っています。

当社所属の仙台出身プロテニスプレーヤー、杉田祐一プロをはじめとするメンバーがコーチとなり、参加者とともに汗を流しています。

毎回100名を超える参加があり、本活動に賛同する他社実業団チームからの選手やコーチの協力も得て、恒例の活動として定着してきました。



宮城県仙台市でのクリニック



福島県会津若松市でのクリニック



神奈川県教育委員会が主導する、実業団チームの監督や選手等を講師とした部活動講習会「かながわ部活ドリーム講習会」に、2011年から協力しています。

神奈川県下の全高校に案内を送付し、テニス部の顧問とキャプテンの両者がそろって受講するユニークなイベントで、三菱電機鎌倉製作所に毎回100名を超える参加者が集まって熱心に指導を受けています。



2014年3月の活動の様子

日本各地でのテニスクリニック

鎌倉市4高校テニスクリニック

三菱電機ファルコンズが拠点を置く、鎌倉市にある県立4高校のテニス部員を対象に、2005年からクリニックを開催しています。

三菱電機鎌倉製作所のコートに全テニス部員およそ100名を招待して、選手が直接指導を行っています。



2014年3月の活動の様子

小樽テニス協会ジュニアクリニック

北海道地区の当社社員及び、小樽市の地元ジュニアを対象に、ファルコンズメンバーによるクリニックを2011年から開催しています。



2014年8月の活動の様子

松山ジュニアクリニック

道後CUP愛媛オープンジャパンテニスツアーのイベントとして、小中高生を対象としたクリニックを、伊予銀行テニス部と2012年から開催しています。

一般の車いすテニスプレーヤーとの交流会などもあり、参加者が100名にのぼる楽しいイベントとなっています。



2014年8月の活動の様子



▶ 三菱電機スポーツポータルサイト D Sports

三菱電機のスポーツ活動を紹介するスペシャルサイトです。最新の試合結果やニュース、イベント情報等をご紹介します。

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

文化芸術・スポーツ

地域に根ざした活動

次世代の人材をはぐくむ活動

▶ 社会福祉 | ▶ 地球環境保全 | ▶ 科学技術 | ▼ 文化芸術・スポーツ

▶ バスケットボールチーム ▶ アメリカンフットボールチーム ▶ テニスチーム ▼ バドミントンチーム

バドミントンチームによる社会貢献活動

三菱電機バドミントンチーム「ダイヤモンドウイングス」は、バドミントンの普及と地域貢献を目的に、チームの拠点がある兵庫県内で主に活動を行っています。講習会や、高校生等の練習参加受け入れによる選手強化に協力し、バドミントンのおもしろさを伝えています。参加者には、一流のプレーを間近に見たり体感したりできると、とても喜んでいただいています。

兵庫県小学生連盟練習会

兵庫県小学生バドミントン連盟からの依頼を受け、2013年9月に神戸市のグリーンアリーナ神戸で開催された講習会に参加しました。

県内の小学生チームの選手や指導者合計50名を対象に、ダイヤモンドウイングスの監督と選手4名が、一緒のコートに入ってプレイするなど参加者とのふれあいを大切にしながらバドミントンの楽しさを伝えました。



三木市バドミントン技術講習会



三木市バドミントン協会が2013年12月に兵庫県三木市にある三木勤労者体育センターで開催した講習会で、ダイヤモンドウィングスの監督と選手7名が指導を行いました。

集まった三木市のバドミントン愛好者40名は、選手からプレイのコツを学ぼうと真剣に取り組んでいました。



クイーンズサーキット横手大会講習会

2013年5月に秋田県横手市で開催された、日本リーグチームを中心とした強化大会「クイーンズサーキット2013横手大会」の期間中に、地元の中学生および高校生40名への講習会を各チーム合同で行いました。クイーンズサーキット運営委員会が主催したこの講習会に、ダイヤモンドウィングスからも監督と選手2名が参加しました。



▶ 三菱電機スポーツポータルサイト D Sports

三菱電機のスポーツ活動を紹介するスペシャルサイトです。最新の試合結果やニュース、イベント情報等をご紹介します。

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ



北海道支社 × HTBサイエンス教室（北海道札幌市）

北海道支社は北海道テレビ放送（HTB）とのコラボレーションで、科学の面白さを伝える「こどもサイエンス教室」と、放送スタジオ見学・アナウンサー体験を開催しています。

2014年から行っており、毎回、小学校の親子約50名にご参加いただいています。

▶ [詳しくはこちら](#) 



みつびしでんき野外教室「まるやま自然探検隊」（北海道札幌市）



北海道支社は、札幌市中央区にある円山公園（円山原生林麓）で、野外教室を2010年から開催しています。対象は、地元の幼稚園へ通う子どもとそのご家族です。研修を受けた野外教室リーダー（社員）のもと、参加者はおよそ1時間30分、ルーペ片手に五感を使いながら自然を観察します。教室では、季節の花木や動物がかじった痕がある松ぼっくりを観察したり、厚い葉を手でさわってみたりします。そして土の匂いをかぎ、ミミズや小さな虫、きのこなどの役割を考えることで生まれる「人が捨てたゴミは土にならないから捨てちゃいけないんだ」という子どもたちの気づきを大切にし、自然の循環、環境を守るエコな心を育てています。



中島公園100周年記念植栽活動（北海道札幌市）

北海道支社は、札幌市中央区にある中島公園での植栽活動に参加しています。この活動は、三菱系企業19社（札幌菱友会・三菱業務懇談会）が2011年の開園100周年を記念し当公園へ寄贈した花壇4箇所、社員とその家族が毎年花を植えるものです。初年には当活動に対し札幌市より感謝状が授与されています。



東北の豊かな自然を守る里山保全活動（宮城県黒川郡）



東北地区の三菱電機グループ従業員で取り組む里山保全活動として、東北支社は2015年4月30日付で宮城県と「わたしたちの森づくり事業実施協定書」を締結し、「七ツ森（宮城県黒川郡大和町）」での活動に取り組んでいます。

同年5月30日に実施した初めての活動では、NPO法人宮城県森林インストラクター協会のご協力のもと、遊歩道づくりや枝打ち、樹名板・巣箱の設置、ベンチづくり等を行い、当社および関係会社従業員とその家族44名が東北の豊かな自然とふれあいました。

森づくりの他、環境に対する関心を高め、自然を大切にする心を育むことを目的に、参加した子どもたちへの「みつびしでんき野外教室」もあわせて開催しました。

これからも環境に対する意識向上を図るとともに、地域に根ざした活動に取り組んでまいります。

▶ [東北支社ポータルサイト](#)





札幌市中央区アダプト制度への参加（株式会社北弘電社）

株式会社北弘電社（三菱電機関係会社）は、2009年から年に2回、地域貢献活動として歩道や公園の清掃を全社的に行っていきます。道内の各支社がそれぞれ活動を実施しており、本社がある札幌では、2010年10月に札幌市の「中央区道路アダプト制度※」に参加しています。

アダプト（adopt=養子にする）制度とは

道路や公園などの公共空間を養子にみ立て、市民や町内会、企業、商店街などが里親となり、養子のお世話（=清掃美化活動）をする制度です。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ



海・平野・山での里山保全活動（神奈川県鎌倉市、相模市、横浜市）

神奈川県内の事業所では、海・平野・山の自然に富んだ神奈川県の特長を生かした3つの里山保全活動のプログラムを行っています。



活動内容

鎌倉市農地回復活動：
荒れた農地から農作物が良く育つ農地への回復を目指す活動



こもれびの森保全活動：
全国でも珍しい都市部に隣接した平地林の存続を目指す活動



アマモ再生活動：
海水浄化作用のある海草・アマモ場を再生し、海の浄化・生態系の保全を目指す活動

鎌倉市農地回復活動については、より地域と連携した活動を展開するため、2013年4月に鎌倉市遊休農地解消対策協議会と「鎌倉市遊休農地解消対策実践活動協定」を締結しています。

<関連ニュースリリース>

▶ [「神奈川県での里山保全活動を開始」](#)



近隣小学校への「環境出張教育」(神奈川県鎌倉市)

鎌倉製作所は毎年、近隣小学校の生徒を対象に、社員が先生となって「環境出張教育」を実施しています。小学生の環境マインド育成を目的とし、社員ひとりひとりが取り組んでいる様々な取り組みを紹介しています。

また、当社が2011年に打ち上げた商用通信衛星や、宇宙ステーションに物資を運ぶ「HTV」をはじめとした人工衛星についても一緒に紹介しています。

授業が、こどもたちの環境に対する芽を育むきっかけになればと思います。



独居老人宅枝おろしボランティア(群馬県太田市)



三菱電機群馬ボランティア会では、一人暮らしをしているご高齢者宅の樹木剪定を1998年から毎年行っています。毎回、30名ほどの会員が樹木の伸び具合に応じて庭木の枝おろしをしています。

剪定が終わった後で、家主から「ありがとう」と言ってもらえると、とてもすがすがしい気持ちになります。



街路樹剪定ボランティア(群馬県太田市)

三菱電機群馬ボランティア会では、会社前道路の歩道に植栽された街路樹の剪定を1998年以前から毎年行っています。

剪定されすっきりとした金木犀並木が、秋にはたくさんの花を咲かせて、香りを楽しませてくれることを思うと、作業の疲れも癒されます。





海の森での活動（東京都江東区）



「海の森育林活動」

本社地区（東京都）は、東京湾に浮かぶ「海の森」で2015年3月に初めての育林活動を行いました。「海の森」とは、東京港の中央部に位置する2016年度中に開園予定の公園で、現在、森づくりが進められています。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場予定地でもあります。当日は、参加した従業員とその家族61名でタブノキ、スダジイなど507本の苗木を植えました。未来の東京の森を作るため、継続して活動に取り組んでいきます。

親子で楽しむ「海の森野外教室」

2014年10月に学校法人アゼリー学園と協働で「海の森野外教室」を開催しました。自然との共生について考える場として当社がこども向けに行っている「みつびしでんき野外教室」を「海の森」で開催した今回は、100名を超える親子が参加しました。当日は好天に恵まれ、親子で東京湾の景色を楽しんだだけでなく、こどもたちはルーペを使いながら虫や草花を観察して自然を体感したり、バッタを探して芝生の上を元気いっぱい走り回ったりしました。帰り際には「楽しかった。また来たい！」と大満足の声が聞こえてきました。

<関連サイト>

▶ [「海の森」 Umi-no-Mori \(Sea Forest\)](#) 



富士山育林ボランティア（静岡県富士宮市）

本社地区（東京都）では、社内でボランティアを募り、1996年に台風被害を受けた富士山の自然林復元活動「富士山育林プロジェクト」（ご協力：[住友林業株式会社様](#)）を実施しています。年に3回、自然のサイクルに合わせて、主に補植や若木の保護、枝打ち、間伐などを行っています。雄大な富士山のもとで、職場の同僚や家族、友人と同じ目標に向かって汗を流すのは最高の気分です。



2013年で10周年を迎えた当活動に対し、4月に住友林業株式会社様より感謝状をいただきました。今後も、定期的な活動を通じて被害を受けた森林の再生を目指します。



左：住友林業株式会社 代表取締役社長 市川 晃 様
右：三菱電機株式会社 執行役社長 山西 健一郎（当時）



ふるさとの森サポーター（三菱電機ホーム機器株式会社）



三菱電機ホーム機器株式会社の地元埼玉県深谷市にある「鐘撞堂山ふるさとの森」は、四季折々の自然を満喫できる市内で唯一の里山です。地域主催の「鐘撞堂山ふるさとの森」の環境保全に、同社も2010年から「ふるさとの森サポーター」として参加しています。主な活動は、ハイキングコースの下草の刈取りや清掃で、年2回行っています。



絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、手の自由を失った世界各国の画家が、口や足に絵筆をとり丹精を込めて描いた絵画を展示する「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」を毎年、全国各地で開催しています。

同社と「口と足で描く芸術家協会」に所属する画家が描いた作品との出会いは1991年。東京都小平市にある研修施設の宿泊所に掲額する目的で、作品を購入したのが始まりです。社員たちは、口や足に絵筆をとって懸命に描いた絵画に大変感動し、近隣の方にも鑑賞していただこうと、1992年に同施設内で手作りの絵画展を開催しました。ここでの大きな反響をきっかけに、1994年からは全国展へと活動を広げ、以来、社員やその家族がボランティアで運営を行いながら活動を継続しています。



▶ [詳しくはこちら](#)



三菱エレベーター・エスカレーター安全キャンペーン (三菱電機ビルテクノサービス株式会社)



三菱電機ビルテクノサービス株式会社では「三菱エレベーター・エスカレーター安全キャンペーン」を1980年から全国各地で行っています。このキャンペーンは、子どもたちや高齢者の方々へエレベーター・エスカレーターの安全な乗り方をPRする「利用者説明会」と、マンションやビルのオーナー・管理者の方々へ日常の管理方法や災害時の対応をご説明する「管理者説明会」の2つの活動で構成されています。

特に夏休みの時期（7月から9月）を重点期間とし、幼稚園や保育園、ショッピングモールなどで、紙芝居・クイズ・ゲームなどを用いてわかりやすく安全な乗り方を啓蒙する活動を展開しています。

同社のウェブサイトでも、安全な乗り方を学んでいただける

「Web版安全キャンペーン」をご覧ください。

▶ [詳しくはこちら](#)



子どもたちのための宇宙講座（三菱プレジジョン株式会社）

三菱プレジジョン株式会社は、横浜市内の小学校で開催されるイベントなどで、高学年の子どもたちを対象とした宇宙講座を2012年から行っています。宇宙開発の歴史や太陽系について話し、人工衛星やロケットなどの仕組みと役割を紹介することで、宇宙に興味を持ってもらい、宇宙開発利用が普段の生活に役立っており身近な存在であることを知ってもらうことが目的です。

講座では社員が先生となり、子どもたちが、風船を使ってロケットが宇宙空間でも飛べる仕組みを体験したり、コマを使って地球を周回する人工衛星を安定させる原理や役目を体感したりします。多くの子どもたちに、宇宙にかかわる将来の夢や目標を育ててもらえることを願い活動を継続しています。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ



夏祭り科学ショー（愛知県稲沢市）

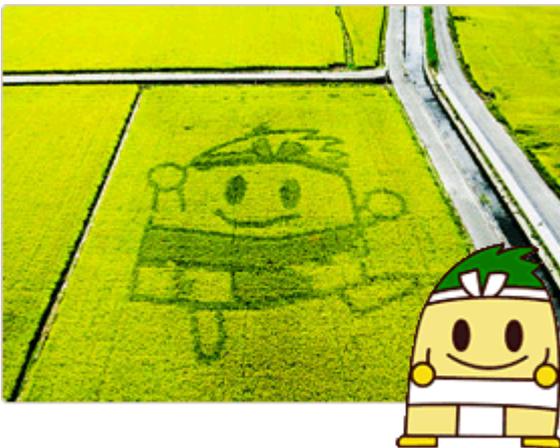


毎年8月に開催し、地域のみなさんにお楽しみいただいている三菱夏まつりでは、2010年から子どもたちを対象とした科学ショーを行っています。稲沢製作所の製品であるエレベーターをテーマに、その基本的な仕組みとして、ロープのかけ方の違いや滑車の有無で持ち上げられるおもりの重さが違ってくることがわかる実験などを行っています。新入社員が先生となって進めるこの活動では、手作りの模型を使って、子どもたちが楽しみながら学べるよう工夫を凝らしています。



田んぼアート（愛知県稲沢市）

稲沢製作所では、市民グループ「稲人の会」が食育や地域おこしをきっかけに始めた「田んぼアート※」に2008年から参加しています。現在では近隣の小学校の米作りの体験学習の一環として位置付けられ、市内のボーイスカウトと一緒に支援を行っています。春には泥んこになって田植えをし、秋には稲が描き出す絵を楽しんでいます。



いなっピー
稲沢市マスコットキャラクター

「田んぼアート」とは

いろいろな種類の稲を使って田んぼに絵を描いたものを「田んぼアート」と言います。稲の種類により葉の色や稲穂の色が違うことから、それらの稲をうまく組み合わせています。



みんな元気な森づくり隊（愛知県名古屋市）

名古屋地区は2007年10月に、愛知県と「企業の森づくり」協定を企業として初めて締結しました。以降、有識者のご指導のもと、地元の方々や関係団体との連携を図りながら、名古屋市守山区に位置する東谷山※1の県有林において、里山保全活動を推進しています。

森林整備や美化活動に加えて、愛知守山自然の会※2の森林インストラクターの方にご協力いただきながら、自然の尊さを学ぶ自然観察会の開催や、間伐材など山にある材料を使った工作教室なども実施しています。参加した子どもたちには、自然とのふれあいを楽しんでもらっています。

2010年度には中部支社も活動に加わり、ますます活発に活動を展開しています。



※1 東谷山：名古屋製作所が愛知県と締結した「企業との森づくり協定」に基づき里山保全活動の拠点としている名古屋市守山区にある約5haの県有林。

※2 愛知守山自然の会：名古屋製作所の里山保全活動に理解を示していただき、活動の企画・実施に関し支援・協力いただいている団体。



里山保全活動（石川県金沢市）



石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」の社会貢献活動として、2009年から、能美市内でサクラ・コナラ植栽地の下草刈りを行っています。地元の緑化推進委員の方にご指導いただきながら、使い慣れない鎌で草刈りを行い、活動に取り組んでいます。



あしながPウォーク10への参加（石川県金沢市）

北陸支社では、地球規模の遺児支援のボランティア活動「あしながPウォーク10」の金沢コースに、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」とともに参加しています。この活動は参加費が「あしなが育英会」に寄付され、教育支援活動費用として活用されるというものです。私たち自身が社会貢献活動について考える良い機会となっています。





環境ボランティア「森のめぐみ塾」(岐阜県中津川市)



中津川製作所ボランティアクラブが中心となり、県立公園「根の上高原・つつじ園」にて森のめぐみ塾(里山保全活動とこどもたちへの環境塾)を立ち上げました。

2008年6月に中津川市および根の上高原観光保勝会と「根の上 生きた自然公園」づくり協定を結び、市や地域の方々と協力しながら、毎回50名程度の参加者が植生調査や下草刈りに汗を流しています。また、親子での「野外教室」や自然にあるものを使って遊ぶ「森のめぐみ大会」も同時開催し、参加者全員で自然の大切さを学んでいます。

「継続」をキーワードに、地域の方々や地元団体と協力しながら、フィールドである県立公園「根の上高原・つつじ園」が美しくなり、県内外から多くのお客様を迎えられることを目標に活動を進め

ています。



ものづくりの楽しさを伝える「子ども科学工作教室」(岐阜県中津川市)

中津川製作所では、中津川地区の活動として2011年から小学生を対象にした「子ども科学工作教室」を実施しています。2013年には、製作所が創立70周年を迎えたのを機に、近隣のこどもたちにも対象範囲を拡大しました。太陽光発電の仕組みについて学び、太陽電池で走るペットボトルソーラーカーを作って屋外の仮設コースで競争させるこの活動を通じ、こどもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらっています。



こどもも大人も夢中になってつくるペットボトルソーラーカー



製作したペットボトルソーラーカーで競争



エアコンの冷える仕組みを教える科学実験ショー（静岡県静岡市）



静岡製作所は、毎年行う一般への工場開放行事で、来場する子どもたちを対象とした科学実験ショーを2013年に開始しました。実際の設計者が先生となって行うこのプログラムでは、断熱圧縮や断熱膨張、気化熱について簡単に説明する実験キットを用いて、エアコンの冷えるしくみを説明します。身近な家電品がテーマとあって、子どもたちの関心も高いようです。



安倍川清掃ボランティア（静岡県静岡市）

静岡製作所では、静岡市環境局が企画した「河川環境アドプトプログラム」（河川との縁組）に参画し、2003年より安倍川清掃ボランティア活動を実施しています。2010年には清掃活動に先立って、社員とその家族を対象に「みつびしでんき野外教室」を開催しました。

環境に対する意識向上と、環境をよりよいものに変えていく行動力醸成のため、今後もより多くの従業員が参加できるよう取り組んでいきたいと考えています。





子ども科学工作教室（長野県飯田市）



地域内の企業11社がボランティアで集まり、飯田市美術博物館を会場に「子ども科学工作教室」を運営しています。この教室は、小学生に、ものづくりの楽しさや、科学への興味を持ってもらおうと1992年からスタートしたものです。

年に4回、中津川製作所飯田工場からも社員を派遣してものづくり教室を行っており、「三極モーターカー・天体望遠鏡・ソーラーカー・FMラジオ」について子どもたちに話をしています。



飯田工場で収穫したりんごを福祉施設に寄贈（長野県飯田市）

毎年暮れに、中津川製作所飯田工場の構内で収穫したりんごを、地元（中津川市・飯田市）の社会福祉施設に寄贈しています。甘くておいしいと、多くの方々に喜んでいただいています。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ



みつびしでんき親子野外教室（京都府長岡京市）



京都製作所では、2006年から「みつびしでんき親子野外教室」を開催しています。参加者は、社員やその家族、そして地域のご家族で、近年では毎年秋に行うイベントとして定着してきています。

教室では、虫や草花をルーペで観察したり、土や植物を実際に手で触ってにおいを嗅いでみたりと、自然の恵みを五感を使って楽しむ工夫が沢山あります。社員が教室のリーダーとなり、毎年違うテーマで開催することには苦労もありますが、そのぶん大人も子どもも夢中になって自然に親しんでいる様子を見ると報われます。

これからも自然の素晴らしさを伝えていけるよう、この活動を充実させていきたいと思ひます。



科学の楽しさを伝える「子ども科学教室」（京都府長岡京市）

京都製作所では、2012年から若手社員が先生となって子どもたちに液晶テレビの仕組みを伝える「科学教室」を開催しています。

教室では、分光シートを使って光にはどんな色があるのかを探し、光の三原色がどのように混ざると何色になるのか顕微鏡で観察します。また、分解した液晶テレビの実物でその構造を学び、参加者全員が楽しみながらテレビの仕組みを知ることができます。

2013年からは、近隣小学校の生徒も対象に開催しており、科学が大好きな子どもを増やしていけるよう取り組んでいます。



中学生の職場体験学習（京都府長岡京市）



京都製作所では2000年から毎年、地元である長岡京市の中学生を対象に、液晶テレビを組み立てる職場体験学習を行っています。これは、実際の仕事を体験してもらうことで、職業観や勤労観を身につけてもらうという学校教育に協力しているものです。

毎年、職業体験を終えた学生さんから「組立完成後に3D映像が映った時は感動した」、「社会のルール・マナーや礼儀、働いてお金をいただく事を実感した」などの感想を聞き、大変やりがいを感じています。この活動が認められ、2010年3月には、長岡京市教育委員会から感謝状が贈られました。



知的障がい者の方の施設で奉仕活動（兵庫県赤穂市）

赤穂地区では、赤穂市立知的障害者授産施設での奉仕活動を、1996年より毎年実施しています。赤穂工場で製造している変圧器から出た廃材の処理（銅線に巻かれている絶縁紙を取り除く作業）を当施設に委託していることから、廃材処理の指導と施設周辺の草刈りを行っています。毎回、利用者と楽しく会話しながら爽やかな汗を流しています。



瑞ヶ池公園の桜を育てる会（兵庫県伊丹市）



1986年に設立した「瑞ヶ池公園の桜を育てる会」は、伊丹市の桜を守り育てるため、近隣住民の方と一緒に社員22名から活動を開始しました。その功績が認められ、2009年には財団法人日本さくらの会より、日本最高峰の「さくら功労者」として表彰され、2011年には伊丹市より、他の模範となる善行をたたえる善行賞「つつじ賞」を受賞しました。そして、日米友好の桜を米国へ寄贈して100周年を迎えた2012年には、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しています。

瑞ヶ池周囲には、ソメイヨシノ・山桜・八重桜など、約600本の桜が植樹されております。現在は会員50名で枯枝剪定・施肥・清掃活動などをし、伊丹市緑化協会及び近隣の自治会長などの協力のもと活動中です。

▶ [日米友好の桜について](#) さらに知りたい方は[こちら](#)



「社会貢献同好会」森林ボランティア（兵庫県神戸市）



2007年に自主参加の活動メンバーを募り社会貢献同好会を立ち上げ、兵庫県篠山市油井地区の共有林で年7回、活動を行っています。地元、行政、当社で「油井鎮守の森を守る会」を発足し、定期的に活動についての打合せをしています。

「子どもたちが遊べる広場づくり」を目指して、40年間放置された自然林の間伐、遊歩道整備といった森林整備活動を実施しています。現在、子どもたちと一緒に森の観察や工作ができるように整備中です。都会とは全く違う空気と森林浴、そして木々を整備することで、メンバー全員が森のパワーをもらっています。



音の日ダイヤトーン（兵庫県三田市）

三田製作所では、2010年から「音の日（12月6日）」のイベントとして、近隣中学校技術部の生徒を招待して「音の日DIATONE音体験会」を開催しています。人が聞き分けられる音の周波数や、スピーカーの音が振動板の素材によって違いが出ることを、実際に音を聞きながら体験してもらっています。



兵庫県立有馬富士公園での里山保全活動（兵庫県三田市）



三田製作所では、2011年から里山保全活動を開始し、社員からなる事務局で活動を運営しています。活動場所は三田市にある兵庫県立有馬富士公園で、生木の生育を妨げる草や笹を刈ったり、伐採されたまま放置されている竹の回収作業を行ったりしています。

12年度からは関西支社の協力も得て、より幅広い活動を展開しています。



熊野古道の道普請（和歌山県和歌山市）

和歌山県に拠点を持つ冷熱システム製作所の新入社員が、雨などにより土砂が流れ出た熊野古道を修復する道普請（みちぶしん）を行っています。同県が実施する「10万人の参詣道『環境保全』活動」に賛同した取り組みで、数トンもの土を背負って運び入れ道を補修する活動です。



サッカー交流大会（和歌山県和歌山市）



冷熱システム製作所では、スポーツを通じて障がいや年齢の壁を越えた交流を深めることを目的に、2000年から従業員が中心となって地域のろう学校、支援学校のこどもたちとのサッカー交流大会を行っています。

毎回、大人も子どもも勝ち負けに関係なく、楽しい時間を共有しています。

▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ



離島での里山保全活動（香川県丸亀市）

受配電システム製作所は、高齢化と過疎化が進む丸亀市の離島「広島」での里山保全活動を2015年2月に開始しました。第一回目の活動では、島の環境資源である登山道入り口の整備として竹の伐採や落ち葉掻きを行い、従業員は活動にご協力いただいた地元自治会や丸亀市の職員の方たちと気持ちのよい汗を流しました。



わくわく子供科学教室（香川県丸亀市）



2011年から「0.03秒で大きな電気をストップ」と題し、受配電システム製作所の製品を、実験を交えて紹介する「わくわく子供科学教室」を開催しています。教室では、白衣を纏った社員が博士となって受配電製品の役割を分かりやすく説明します。

「静電気から小さな雷が発生」、「電気と磁石の関係」、「ストップウォッチで0.03秒にみんなで挑戦」など、いろいろな科学実験をこどもたちに体験してもらっています。



グリーンカーテンプロジェクトのゴーヤを福祉施設へ（香川県丸亀市）

受配電システム製作所では、自然のカーテンで夏の日差しを遮るため、工場の窓際にゴーヤを植えています。省エネになるだけでなく、収穫したゴーヤを毎年、近隣の福祉施設へ贈呈し、喜んでもらっています。



「フォーラムの森」森林保全活動へ参加（広島県広島市）



健全な森林を次代に引き継いでいくことを目的に、広島県が県内の企業や団体と連携して進める「ひろしまの森林（もり）づくりフォーラム」の一員として、中国支社は2013年に県と協定を締結し取り組みを進めています。

活動では、当社および関係会社の従業員とその家族が参加し、ボランティアの指導員から、のこぎりの使い方や木の切り方について説明を受けたあと、枯れ木や日光を遮る木の間伐作業を行っています。作業後にうっそうとしていた森林に光が差し込み、木々の成長が促される元気な森林になった様子を見て、毎回達成感を味わっています。





神辺四季の森づくり（広島県福山市）

福山製作所では、2009年12月に福山市神辺町の御領山で開催された「神辺四季の森づくり」事業に社員・家族で参加し、植樹を手伝ったことがきっかけとなり、翌年の2010年に活動をスタートしました。

このフィールドは、広島県内でも有数の緑豊かな松林地帯でしたが、近年松枯れで荒廃し、森林の機能が失われつつあります。そこで、松枯れに強いとされる「スーパー松」の苗木を育て、災害に強い緑豊かな森林に再生しようと、神辺町下御領生産森林組合が中心となり、広島県東部森林組合や地区の自治会、小学校、消防団などと一緒に活動を推進しています。

最近では、この場所で子どもたちと一緒に椎茸の植菌教室を開くなど、活動の幅が広がっています。今後も、定期的に下草刈りを行い、私たちが植樹した松の成長を見守っていきます。



科学教室「君のお家にもいる！？電気の見張り番たち」（広島県福山市）



福山製作所では、2012年に創立70周年を記念して子どもたちへの科学教室を開始しました。教室では、当製作所の主要製品である遮断器や電力量計の仕組みを、実験を交えて説明しています。フレミングの法則、アラゴの円盤など大人でも難しい内容ですが、子どもたちに楽しく学んでもらっています。



地元イベントでの「サイエンスゼミナール」（ミヨシ電子株式会社）

ミヨシ電子株式会社は、広島県三次市の企業が地域交流と地域活性化を目的に開催する「三次商工フェスティバル」に、当イベントが始まった1992年当初から積極的に参加しています。

2013年からは、このイベントをさらに盛り上げるべく、フェスティバルに訪れた子どもたちを対象に「サイエンスゼミナール」を開催しており、これまでに「ひかり通信のしくみと実験」や「熱の伝わり方」をテーマにした理科教室を行いました。目を輝かせて実験に取り組む子どもたちとのふれあいは、社員にとって大きな刺激となります。「サイエンスゼミナール」を通じて、理科の面白さだけでなく、理科のしくみが沢山の製品に使われていて身近な存在だということを今後も伝えていきたいと考えています。



▶ 「各地域での活動を見る」に戻る

社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保全

 ▶ 科学技術

 ▶ 文化芸術・スポーツ



熊本地区「わぶ川清掃活動」(熊本県合志市)



熊本地区では、1982年から毎年春に、工場脇を流れる「上生(わぶ)川」の土手の草刈りと工場周辺道路の清掃作業を、関係・協力会社や取引業者の方達と一緒にしています。

毎回、作業前の土手には大量の草が生い茂り、川の流れも見えない状態ですが、2時間程の作業で、きれいな川の流れが戻ってきます。

2013年3月には、地元の活動として改めて合志市と協定を結んでおり、川の持つ心なごむ風景と地元の環境を保つため、活動を継続しています。



液晶ディスプレイの仕組みを学ぶ科学実験ショー(熊本県合志市)

パワーデバイス製作所(熊本工場)は、子どもたちを対象にした科学実験ショーを2012年に初めて開催しました。教室では、液晶ディスプレイの仕組みについて、実験を交えながら新人エンジニアが説明しました。子どもたちは、光の三原色など、科学の不思議さに驚いたり、パソコンの液晶画面を顕微鏡で見たりして、科学への興味を深めてくれました。



科学ショー(長崎県長崎市)



2011年から長崎製作所では、地元の子どもたちを対象に「屋外用のオーロラビジョン」をテーマにした科学ショーを行っています。「光の三原色」の説明を通じて、いろいろな色が組み合わせられて映像ができていることを知ってもらったり、「画面を見やすくするメカニズム」を説明し、画面に太陽光が当たっても映像がなぜはっきりと見えるのかを模型で体験してもらったりします。当社の製品を知ってもらっただけでなく、科学への興味を持ってもらうのが狙いです。

元気いっぱいな子どもたちの素直な反応が嬉しい、やりがいのある活動です。



こどもたちの好奇心を育む科学教室（福岡県福岡市）

九州支社では、次世代を担うこどもたちに科学への興味を持ってもらえるようにと2013年から科学教室を積極的に開催しています。これまでに地域の院内学級や学童保育、保育園やこどもエコクラブ（沖縄県）のこどもたちを対象に、光の三原色を教える「色とひかりのなぞ実験」と「光万華鏡工作」を実施しました。こどもたちに分かりやすい説明や興味を引き出すしかけなど、毎回工夫しながら取り組んでいます。



光万華鏡をのぞくこどもたち



地元保育園児向け野外教室（福岡県福岡市）



九州支社は2008年から福岡市内の「ふたば保育園」の5歳児を対象に、自然を大切にする心を育むための「みつびしでんき野外教室」を開催しています。里山保全活動のフィールドである「福岡市油山自然観察の森」で、「一般財団法人福岡市市民の森協会」のご協力のもと三菱電機と関係会社の従業員が教室リーダーとなり行っています。教室では、五感を使って自然に親しみ、自然の循環を学ぶ自然観察を実施しています。





里山保全活動・野外教室（福岡県福岡市）

九州支社では、2011年に「福岡市油山自然観察の森」での里山保全活動を開始しました。この場所は、子どもたちに自然の大切さを知ってもらうため以前から実施している「みつびしでんき野外教室」の活動拠点でもあります。

森のために、他にもお役に立てることがないか相談したところ、常緑樹の落葉清掃や看板清掃、その他森の自然を守るごみ拾いのリクエストを受け、活動を実施することになりました。

活動終了後にはプチ野外教室も開催しており、大人も子どもも楽しみながら自然循環の仕組みと自然との共生について理解を深めることができる、きっかけ作りに繋がればと思っています。



支援学校からの実習生受け入れ（三菱電機ライフサービス株式会社 熊本支店）



会社近隣の「熊本県立ひのくに高等支援学校」への訪問がきっかけとなり、2013年の秋から同校に通う知的障がいを持つ生徒を、清掃や緑化業務等の実習生として毎年受け入れています。

初めて受け入れた時には不安もありましたが、どの生徒も真面目にひたむきに作業に取り組んでおり、指導を行う従業員にとっては自らの仕事を見つめなおす良い機会となっています。2014年と2015年には、1名ずつ実習の受け入れから採用につなげることができました。今後も実習を中心に、学校や地域との関わりを大切にしていきます。

▶ 「各地域での活動を見る」に戻る

社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保全

 ▶ 科学技術

 ▶ 文化芸術・スポーツ

アメリカ

アメリカ | ヨーロッパ・アフリカ | アジア・オセアニア

桜の植樹活動（アメリカ）



電力、社会インフラ製品の製造・販売拠点であるMitsubishi Electric Power Products, Inc.の従業員ボランティアは、毎年4月にNPO法人「ピッツバーグさくらプロジェクト」とピッツバーグ日本協会と協力しながら、ピッツバーグのノースパークで桜の植樹を行っています。

米国三菱電機財団との活動

米国三菱電機各社の社員ボランティアは、「Changes for the Better」の精神で、米国三菱電機財団と共に様々なイベントを行っています。1991年以来、社員ボランティアの活動時間は約45,000時間となっています(2012年時点)。

▶ [「米国三菱電機財団」の活動を見る](#)



よりよい未来をつくるために（コロンビア）



Mitsubishi Electric de Colombia Ltda.は、高齢者支援や、経済的に恵まれない子どもたちに対する教育支援を行う施設や団体へ寄付しています。1989年の工場設立当初から、そのような子どもたちが通う近隣の学校へ寄付を行っているほか、地元のサッカーチームのスポンサーにもなっています。

2011年からは、ABC PRODEIN財団の経済的に恵まれない子どもたち10名を対象に、食事や教育を支援するための寄付を行っています。

子どもたちを支援することで、将来的には社会も変えることができると信じ、活動を続けています。

植樹活動（メキシコ）

メキシコの当社拠点各社の従業員は、地球温暖化対策としてメキシコ市郊外で毎年、植樹活動を行っています。2012年8月には、合計120名の従業員とその家族が活動に参加しました。

これからも、この活動を継続していきます。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

セーブ・ザ・チルドレンへの寄付（イギリス）



Mitsubishi Electric Europe, B.V. はゴルフイベントと夕食会で £10,000を超える額の寄付を集め、セーブ・ザ・チルドレンへ贈りました。セーブ・ザ・チルドレンは、世界で危機や災害が起こった際に駆けつける、子どもたちのための民間の国際援助団体です。

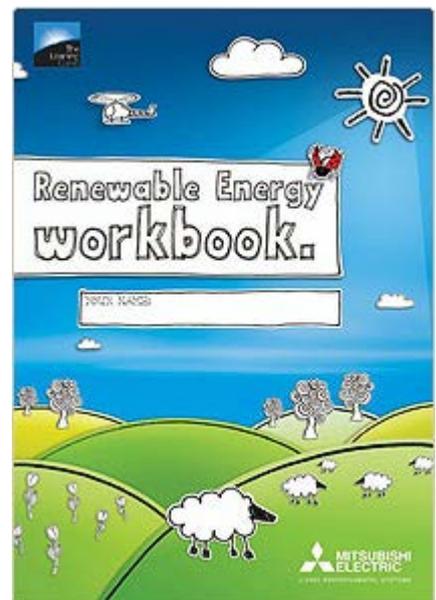
今回のイベントは、資金を集めるための特別プログラムの一環で、2012年10月にはペルーのマチュピチュで8日間のチャリティハイキングを行い寄付を募りました。

再生可能エネルギーについての教育プログラム（イギリス）

Mitsubishi Electric Europe, B.V. は、若者へ再生可能技術について教える教育プログラムの先駆者として、国内で高い評価を得ました。

Mitsubishi Electric Europe, B.V.では学校の生徒たちへ3R (Reduce, Reuse, Recycle) を取り入れることの大切さについて教えており、会社の施設見学もこの教育カリキュラムに含まれています。

この活動は、再生可能エネルギー分野で最も価値のある「The National Heat Pump Awards」の「優秀トレーニング」部門で優勝しました。審査員はこのプログラムについて「子どもたちの再生可能技術に対する関心を促す全く新しい方法で、感動してわくわくさせられる」と評価しました。



日英高校生サイエンスワークショップ（イギリス）



Mitsubishi Electric Europe,B.V. は2008年から、「日英高校生サイエンスワークショップ」を支援しています（主催：クリフトン科学財団、協力：バブラハム研究所、ケンブリッジ大学 嘉悦センター）。

このワークショップでは、イギリスと日本の高校生が参加し、一週間生活をともにしながら様々な科学テーマについて研究し意見を交わします。プログラム最終日には、参加学生による研究発表も行われています。

[日英高校生サイエンスプログラムについての詳細はこちら](#)
(英語サイト) 

ヒストリック・ロイヤル・パレスへの支援（イギリス）

ヒストリック・ロイヤル・パレス（以下HRP）はイギリスの独立慈善団体で、ロンドン塔やハンプトンコート宮殿、バンケティングハウス、ケンジントン宮殿、キュー宮殿を管理しています。

宮殿自体は王室の所有ですが、当団体は、政府や王室から資金援助を受けず、見学者、会員、募金、ボランティア、スポンサーなどからの支援によって支えられています。

Mitsubishi Electric Europe,B.V. は2010年からHRPを支援しており、近年は宮殿の写真コレクション75,000点からなるオンライン版電子図書館の製作プロジェクトを支援しています。



スペシャルオリンピックスへのサポート（イタリア）



スペシャルオリンピックスは、地方や全国、世界といったエリアにかかわらず、世界中のあらゆる場所を対象に、スポーツをする知的障がい者に向けた教育プログラムを提供し、練習やイベントの場を企画しています。

Mitsubishi Electric Europe, B.V. イタリア支店では、2012年からイタリアにおける全国大会を支援するほか、地区競技会の開催も数年にわたり支援しています。

[スペシャルオリンピックス・イタリアについての詳細はこちら](#)
(英語サイト) 

学生への就労支援（イタリア）

Mitsubishi Electric Europe, B.V. イタリア支店は、ファクトリーオートメーション（FA）分野で事業展開する企業と、同分野への就業に関心のある工学部学生とのパートナーシップ促進を目的に、イタリア全国オートメーション協会（Italian National Association for Automation）が開催する会議への参加を通じて大学への門戸を開いています。

「オートメーション：プロの技術者像」と題した会議では、イタリア支店がFA分野における若い技術者の専門職者への道や就業機会を示し、若者たちが学業修了後に身を置くことになる職場環境に関する事例を提供しています。



全国大学選手権への支援（イタリア）



Mitsubishi Electric Europe, B.V. イタリア支店は、スポーツの浸透を図るミラノの大学スポーツセンター（CUS）とパートナーシップを継続して締結し、2014年5月16日から25日にかけてミラノ市で初めて開催された一大スポーツイベントである第68回全国大学選手権を支援しました。

イタリア全土のCUSから参加した約4,500人のアスリートが、ミラノ市内全域に設けられた20の施設で23種の競技で競い合い、運営には170人を超える学生ボランティアが携わりました。

高校生への技術研修（イタリア）

学業と実際の仕事との距離を縮めるため、アグラテブリアンツァにあるMitsubishi Electric Europe, B.V. イタリア支店の研修センターでは、ミラノにある Istituto Tecnico Industriale Statale G. Feltrinelli 高校と共同で新しいプロジェクトを開始しました。

このプロジェクトは、熱力学を学ぶ高校生を対象に技術研修を提供するもので、各クラスにつき3日間の研修を行い、合計約120人の学生が受講します。2014年3月と4月には、教室だけでなく、アグラテブリアンツァにある研修センターの研究室でも授業を行いました。狙いは、学生たちが経験を積み、稼働する機械での実践実習を通じて理論的に学んだことを整理し、まとめられるようにすることです。

研修1日目は理論と実践の両面からみた冷蔵回路の運転の徹底分析、2日目は現代の空調を特徴づけるプラントエンジニアリング・アプリケーションとその技術、をテーマとして扱いました。最終日には、環境への影響と経済的持続性に重点を置き、三菱電機の技術、とりわけ室内暖房と熱回収のための技術解決策の核心部分を取り上げました。



ミラノ工科大学の就職支援イベントに参加（イタリア）



Mitsubishi Electric Europe, B.V. イタリア支店は、2013年9月からミラノ工科大学のパートナーとして、同大学の就職支援センターが推進する取り組みに参加しています。

就職に関連するプログラムは3つのイベントで構成されており、最初のイベントは2013年、2回目は2014年に開催しました。イベントでは、イタリア支店の担当者が組織におけるさまざまな役割と、専門職に至るまでの道筋について説明し、新卒者はもとより全ての学生にとって実用的な情報を得るよい機会となりました。これらのイベントには他の企業も参加しており、学生たちは企業担当者に直接質問し、新卒者に期待される役割について理解を深めることができました。

3回目のイベントは2014年に同校で開催された「キャリア・デイ」で、三菱電機を含む電気電子工業界のトップ企業が参加しました。若い学生や卒業生は人事担当者と直接話をして、その場で応募書類を提出していました。

地元のスポーツプログラムを支援（イタリア）

Mitsubishi Electric Europe B.V. イタリア支店は、2012年もモンツァ市が主催する市民のためのプログラム「sport nel parco」のメインスポンサーとして支援を行いました。

このプログラムでは、ヨーロッパで最も大きい公園の一つ「Parco de Monza」で、6ヶ月間無料で14種類のスポーツを楽しむことができます。



科学技術教育に貢献（イタリア）



Mitsubishi Electric Europe B.V. イタリア支店は、ミラノにあるレオナルド・ダ・ヴィンチ記念国立科学技術博物館のオフィシャルパートナーです。博物館内にあるロボットの常設展示エリアには、特別展示としてレオナルド・ダ・ヴィンチによる500年以上前のテクノロジーも再現されている他、三菱電機のファクトリーロボットも同じ場所で見ることができます。

小中高生の科学技術への関心を高めることは、教育における長期的課題です。科学技術教育と名づけられた当プロジェクトは、ロボットを展示するヨーロッパの博物館の中で最大級のものになることを目的としています。

パラオ音楽祭への協賛（スペイン）

Mitsubishi Electric Europe, B.V. スペイン支店は、数年間にわたり、将来有望な若手音楽家を支援しています。ユネスコの世界遺産にも登録され、世界的に一流のコンサートホールであるバルセロナの「パラオ音楽堂」で毎年行われる、若手音楽家の登竜門「パラオ音楽祭」へ協賛しています。

予選を勝ち抜いた出場者の中から、本選で優勝者が決められ、賞金が授与されます。しかし、パラオ音楽祭に出場すること自体が音楽の世界においてプロの道へのステップと考えられており、実際には、出場できること自体が大変名誉な音楽祭です。



デュッセルドルフの暴風雨被害と森林再生に対する支援（ドイツ）



2014年6月に発生した猛烈な嵐による被害に対し、Mitsubishi Electric Europe, B.V. ドイツ支店は、デュッセルドルフの早急な復興支援と、ラティンゲンにあるPoensgen公園の森林再生支援のために寄付を行いました。

2014年10月27日に行ったラティンゲン市長への寄付贈呈の際には、同ドイツ支店長から「ラティンゲンに拠点を置く地元会社として、災害の復旧にできる限り尽力したいと考えています。社会貢献の精神は当社に深く根付いています」とのエールを送りました。



ライン河畔の清掃（ドイツ）

2012年3月、Mitsubishi Electric Europe, B.V. ドイツ支店は、昨年
に続いてデュッセルドルフ市が開催する清掃活動「Clean-up Day
in Dusseldorf」に参加しました。当活動では、市内を流れるライ
ン川沿いを清掃します。

14回目を数える今回は140以上の企業が参加し、総勢約5,000人
で22トン以上のゴミを集めました。



ポーランド・ビジネス・ランへの支援（ポーランド）



Mitsubishi Electric Europe, B.V. ポーランド支店は、2014年9月
にポーランドの5都市で毎年開催されている有名なチャリティイベ
ント「ポーランド・ビジネス・ラン」に参加しました。

約20kmの距離を5区間に分けて走るリレー形式のレースは、各都
市の障がい者を支援するための資金集めを目的としたもの
で、2014年はクラブで開催されたレースに合計約2万人のラン
ナーが参加しました。ポーランド支店からは4チームが参加し、そ
の最高順位は参加600チーム中74位でした。

また、ポーランド支店は、ランナーを支援するためのウォーターボ
トル4,000本を提供しました。

チームのキャプテンを務めたポーランド支店長は、「イベント登録
時に、このイベントで集められた寄付で新しい義足を受け取る女性
にお会いする機会がありました。サポートをする側とそれを受け取る側が直接会う機会が設けられたことによって、私た
ちはよい刺激を受けることができました」と、イベントに参加できたことを喜んでいました。

▶ [ポーランド・ビジネス・ランについての詳細はこちら（英語サイト）](#) 

最先端のオートメーション・ロボティクス トレーニングセンターを開設（ポーランド）

2011年にポーランド国家教育省と連携し、ウッチ市に「オート
メーション・ロボティクス トレーニングセンター」を設立しまし
た。ポーランドでは国をあげて製造業や生産基盤の近代化を進めて
いるという背景があり、年間一万人以上の学生や教師がこのセン
ターを利用しています。

利用者には、産業界からのエンジニアや、地元大学やウッチ市の教
育施設で勉強をしている学生がいます。センターは、三菱電機やフ
エストなどのグローバル企業から提供された、最先端の自動化製品
やシステムを完備しています。



未来のエンジニアがファクトリーオートメーションのショールームを見学（ポーランド）



将来エンジニアになるかもしれないクラクフ市の小学生50人が、Mitsubishi Electric Europe B.V. ポーランド支店のファクトリーオートメーションのショールームを見学しました。見学の際、こどもたちには三菱電機の未来のエコロボットを想像して描くという課題が出されていましたが、どれもとてもよくできていました。

見学にあわせて、簡単な日本語の授業も行い、こどもたちはカタカナで自分の名前を学びました。

難病のこどもたちによる作品展への支援（ロシア）

Mitsubishi Electric Europe, B.V. ロシア支店では、2014年から病気を抱えるこどもたちのための著名な助成基金「Gift of Life」を支援しています。

2月15日から3月15日にかけて、この基金の第11回美術展「自宅でつくった作品展（"I Am at Home）」がズラブ・ツェレテリ美術館で開催されました。

「国際小児がんの日」と時を同じくして開催されたこの美術展は、治療を受けている重病のこどもたちのリハビリテーション・プログラムの一環として毎年開催されており、癌を抱えるこどもたちに対する世間の関心を高め、癌が不治の病だとする固定概念を払拭することを目指しています。

2014年の美術展は、文字どおりのマルチメディア・プロジェクトとなり、イーゼル（画架）に飾られた作品や、写真、シャドウオブジェクト、ビデオ、モザイクが展示されました。こどもたちがこの一年間に作成した作品を入館者に観てもらうため、ロシア支店では多数の液晶ディスプレイやプロジェクター、インスタント写真印刷用システムを提供しました。



難病を抱える少年への支援（ロシア）



Mitsubishi Electric Europe, B.V. ロシア支店は、2014年に原因不明の遺伝性疾患に苦しむ少年、ワロージャ・ブレズギン君を支援しました。ロシア支店の社員がきっかけでワロージャ君を知り、この少年を受け入れてくれる欧州の病院を探したところ、ドイツの病院を見つけることができました。また、その治療費は、寄付金によりほぼ目標額に達することができました。

夏季工学ビジネススクールKLIPPER 2014 (ロシア)

Mitsubishi Electric Europe B.V.ロシア支店は、夏季工学ビジネススクールKLIPPER のゼネラルパートナーです。このスクールはバウマン・モスクワ州立工科大学が運営しており、第二回となる夏季スクールがトヴェリ州立大学のキャンパスで2014年7月5日から11日にかけて開校されました。

スクールの目標は、工学部学生のビジネススキルと経営能力の向上です。

2014年は、全国各地から集まった参加者30人の学生たちが専門家たちの指導を受けながらロボット「Ermishka」の商品化に取り組みました。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保全



▶ 科学技術



▶ 文化芸術・スポーツ

グルガオンでの植樹活動（インド）



Mitsubishi Electric India Private Limited (MEI) は社会貢献活動の一環として、グルガオンのセクター29にあるフーダ・シティー・センターでの緑化運動に取り組んでいます。

2013年に続き、2014年も地元のNGOと学校の協力を得て8月30日に活動を行いました。グルガオンにある同校からは50人以上の生徒が参加し、人間にとって樹木が大切であることや、地球温暖化や資源の枯渇を招く森林破壊などについて学びました。

当社の環境ステートメント「エコチェンジ」のもと2013年に開始した緑化運動によって、MEIはこれまでに8,000本以上の苗木を植栽しています。園芸と灌漑の専門家が樹木の維持管理を行っているため、極めて元気に育っています。

技術教育機関における技能開発（インド）

Mitsubishi Electric India Private Limited (MEI) は、良き企業市民として社会的責任を果たすことを重要視しています。MEIのファクトリーオートメーションセンターでは、学生の教育と、技術教育機関へのファクトリーオートメーションのキット寄贈により、積極的に社会に貢献しています。

教育機関で教わる理論と実際に役立つ知識には隔たりがあるため、インドでは人材育成が重要な課題となっています。MEIは技術教育機関の技能格差を埋め、実際に役立つ知識を学生に伝えるため、学習・育成プログラムを開始しました。また、実際に製品を使用することで、若いインド人技術者にファクトリーオートメーションに関する認識を深めてもらおうと、過去には関連機器を寄贈しています。これまでに、インド国内の14の技術教育機関で、約5,000人の学生に対して取り組みを行っています。



インドネシア3拠点合同での緑化運動（インドネシア）



2014年9月13日、インドネシアにある三菱電機グループ3社、PT. Mitsubishi Electric Indonesia、PT.Mitsubishi Electric Automotive Indonesia、P.T. Mitsubishi Jaya Elevator and Escalatorは、シンガポールに拠点を置くMitsubishi Electric Asia Pte. Ltdとデポック市のSMAN 10 Depok高校による協力のもと、植樹イベントを実施しました。デポック市が建設を計画していた植物園を支援するため、環境意識啓発活動の一環として24種類500本の樹木を植えました。

また、活動にあわせて、今回協力してくれた、2014年7月に新設されたばかりの同校にコンピュータ3台、送風機3台、ごみ箱6個などを寄贈しました。

西ジャワでの緑化運動（インドネシア）

PT.Mitsubishi Electric Automotive Indonesia（MEAINA）は従業員約400人が、2013年9月14日に西ジャワのグデ山とパンランゴ山で約1,000本の植樹を行いました。この活動は、グデ山とパンランゴ山周辺の環境保護に取り組むNGOの協力を得て実施したものです。MEAINAは植樹した場所の森林管理も行い、自分たちが植えた木を見守っています。三菱電機グループの環境ステートメント「エコチェンジ」のキャッチフレーズである「For a Greener Tomorrow」の思いを胸に、毎年植樹を行うことで自然保護の姿勢を示したいと考えています。

このほか、MEAINAは緑化運動にあわせて村の貧しい人々へ医療品と食料や衣類などの日用品を寄贈しました。さらに、地元の子どもたちを集めた環境絵画コンクールを開催し、子どもたちは絵画の創作を通じて地球環境の保護について学びました。



チカランの低開発地域への救急車寄贈とボランティア活動（インドネシア）



PT.Mitsubishi Electric Automotive Indonesia (MEAINA) は、2013年7月6日と7日の2日間にわたり、さまざまな慈善活動を行いました。

初日は、チカラン地域にあるMEAINA工場から約20kmの場所に拠点を置く非営利団体で、西ジャワのブカシ地域に住む貧しい人々へ無償で健康診断や医療相談を提供している財団に救急車を寄贈しました。この救急車は、小さな病院から周辺地域の大きな病院へ無料で患者を搬送するためにも使われる予定で、人道支援活動を行う際の貴重な戦力となることが期待されます。

2日目には同財団と協力して、MEAINA工場から約25kmの距離にあるスクマナ村の高齢者を無料で診療しました。また、こどもたちに食料や学用品をプレゼントし、従業員ボランティアは地域のモスクの清掃と壁の塗り直しを行いました。

高齢者施設での交流（シンガポール）

Mitsubishi Electric Asia Pte. Ltd. (MEAP) は、従業員ボランティアがAPEXデイリハビリテーションセンターを年に数回訪問し、センターを利用する高齢者と交流しています。

2013年8月14に、センター利用者と共に訪れたリバーサファリのパンダの森では、世界的に有名なジャイアントパンダ、"ジアジア"と"カイカイ"に会うことができ、皆さんにとっても喜んでいただくことができました。

恒例の行事としては旧正月の祝賀会があり、毎年MEAPのボランティアが、センター利用者とゲームをしたり、昼食を食べたり、中国の正月の歌を歌ったりするなどして楽しんでもらっています。

2014年のパーティーでは、MEAPのCSR会長が福の神に扮してセンター利用者に金貨を配りました。利用者たちは喜びながら福の神と一緒に写真に収まっていました。



三菱電機グループのボランティア活動（タイ）



タイでは三菱電機グループ各社が、タイ国三菱電機財団のアレンジにより毎年合同でボランティア活動を行っています。

2014年5月31日には、タイに所在するすべての系列会社から参加した従業員ボランティア460人が、ラヨン県のPak Maenam Prasaeにマングローブ4,500本を植樹し、マングローブ蟹400匹を本来の生息地に放しました。シンガポールMitsubishi Electric Asia Pte. Ltd.や現地の方々もこのイベントに参加しました。各社は、将来Pak Nam Prasaeで成長したマングローブを見ることを楽しみにしています。また環境にやさしい未来に向けて、地元の皆様と力を合わせて環境保護に取り組む機会が得られたことに感謝しています。

▶ [タイ国三菱電機財団の詳細についてはこちら](#) 

タイ国三菱電機財団による2014年度奨学金授与式（タイ）

タイ国三菱電機財団は、1993年からタイの工学系学生で、経済的な問題が学業の支障となっている学生に対し返済義務のない奨学金を支給しています。2014年度は新たに20名の学生が奨学金の支給対象に選ばれました。

▶ [タイ国三菱電機財団の詳細についてはこちら](#) 



創立50周年記念のマングローブ植樹（タイ）



Kang Yong Electric Public Co., Ltd.では創立50周年を記念して、従業員ボランティアと共にサムットソクラーム県にある湖でマングローブ5,000本の植栽を行いました。参加者は自分たちが植えた木が、そこに生息する魚やカニなどの水生動物のために、将来立派なマングローブ林になることを願いながら活動を行いました。

地域の清掃活動への参加（タイ）

Kang Yong Electric Public Co., Ltd.をはじめとする、サムットプラカーンのBangchalong地区にある工場の従業員ボランティアが、地域の清掃イベント「Big Cleaning Day」に参加しました。参加者は地元住民と協力してクロンと呼ばれる運河の清掃をしました。



バス停の清掃活動（タイ）



Kang Yong Electric Public Co., Ltd.は、2014年にバンコクのバンナー地区を通るバンナー・トラート道路沿いの7箇所にバス停を寄贈しました。以来、バス停を利用する周辺住民のために安全で快適な環境を維持することが必要だと考え、同社の従業員ボランティアが7箇所のバス停全ての清掃を行っています。

宗教行事のお祝い（タイ）

仏僧が雨季の3ヶ月間、外出を控え寺院で修行に専念する仏教行事「雨安居（うあんご）」の最終日を指すワン・オークパンサーの日には、人々は僧侶に寄進するため寺院に集まります。タイなどアジアの小乗仏教信仰国では、雨季の終わりを告げる日でもあります。Kang Yong Electric Public Co., Ltd.とその従業員は、この日を祝うため、2003年からワン・オークパンサーに合わせて毎年異なる地域で活動を行っています。

Mitsubishi Electric Thai Auto-Parts Co., Ltd.（META）もまた、仏教の祭日である三宝節と雨安居の日を祝っています。METAはこれらタイの伝統文化や芸術の重要性を認め、従業員がイベントに参加したり寺院に喜捨したりする機会を提供しています。2013年には、尖塔などの装飾を施した四角い建造物をラヨン県にある寺院に建設するための資金として寄付を行いました。



こどもの日の慈善活動（タイ）

1月の第2土曜日はタイのこどもの日で、人々はこどもが喜ぶ場所に行き祝います。この日には多くの地方自治体が特別なイベントを催しており、こどもが半額もしくは無料で入場できる施設があります。Kang Yong Electric Public Co., Ltd.では、2003年からこどもの日にあわせて毎年異なる地域でこどものための活動を行っています。

Mitsubishi Electric Thai Auto-Parts Co., Ltd.（META）もまた、こどもの日を祝うため、2014年はこの日にあわせて地元の小学生に向けたレクリエーションイベントを開催しました。開会式の挨拶のなかで、META社長は「今日のこどもは明日の大人であり、将来タイが発展するかどうかは、今のこどもたちがどのように成長し、どのような生き方をするかにかかっています。こどもは国の宝です。伝統的なタイのことわざ『こどもは国の未来である - こどもが賢ければ国は繁栄する』を胸に、METAはこどもたちがこの国で果たすべき役割を自覚して成長していけるように応援します」と述べました。



水害被災地支援（タイ）

2013年10月に豪雨がタイを襲い、プラーチーンブリー県に壊滅的な洪水をもたらしました。Mitsubishi Electric Thai Auto-Parts Co., Ltd.では、食堂に設置した募金箱に従業員がお金や食料品、水などを持ち寄り、避難所に滞在していた被災者に届けました。



環境保護を訴える寸劇（台湾）



Mitsubishi Electric Taiwan Co., Ltd. (ME-TWN) は、台湾梅花鹿（台湾ハナジカ）を模してオリジナル・キャラクターに仕立てた寸劇を、2013年8月に初めて上演しました。台湾梅花鹿は絶滅危惧種であり、ME-TWNは2012年度からその飼育を経済的に支援しています。

劇のなかでは、ME-TWNの社長が環境保護派の教授に扮して、環境保護の大切さを紹介しました。また、ME-TWNが2013年12月にこの劇を演じた養護学校には、AED（自動体外式除細動器）の寄贈も行いました。

古着リサイクル活動（台湾）



台北市知的障がい者リハビリテーション協会からMitsubishi Electric Taiwanへの感謝状

Mitsubishi Electric Taiwanは毎年旧正月の時期に、社内に古着のリサイクルBOXを設置し、「台北市心理復健家族連合協会」（台北市知的障がい者リハビリテーション協会）へ古着を寄贈しています。この協会は知的障がい者の社会復帰を支援しており、古着リサイクルは社会的自立支援の一つのプログラムとなっています。

社員はこの活動を通じ、知的障がい者の自立を支援すると共に、環境を意識した活動を行っています。

2014年度には2013年度を上回る144kgの古着を寄贈しました。



上海市で植樹活動（中国）

三菱電機（中国）有限公司は、環境貢献活動の一環として2008年から上海市政府との連携により植林活動を主催しています。地域貢献、環境保護というCSRの意義に加え、社員の家族と共にグループとしての一体感を育む大切なイベントになっています。



孤児院への支援（フィリピン）



Laguna Auto-Parts Manufacturing Corp. (LAMCOR) は、2014年2月18日に21人の子どもたちが暮らす孤児院を訪問しました。この孤児院はイタリア人修道女により運営されており、その活動は寄付金によって支えられています。

ボランティアたちは、子どもたちとゲームをして遊び、子どもたちはそのお返しに歌とダンスを披露しました。また、子どもたちはパフォーマンスの後、ボランティアが用意した軽食やお菓子を満喫しました。今回の訪問では、米、ミルク、麺類、缶詰、洗面具類などの生活必需品を寄贈しています。

高齢障がい者へのプレゼント（フィリピン）

Laguna Auto-Parts Manufacturing Corp. (LAMCOR) は、2013年12月18日に環境マネジメントシステム寄付・リサイクル委員会のメンバーがクリスマス精神に則り、高齢者施設を訪問しました。この施設では、地元の修道女たちが障がいを持つ高齢者25人のお世話をしています。ボランティアたちは、早めのクリスマスプレゼントを配り、フィリピンの有名レストランチェーンの食事を用意しました。



学用品の寄付（フィリピン）



Laguna Auto-Parts Manufacturing Corp. (LAMCOR) は、従業員も会員となっている山岳団体と協力して学用品の寄贈を行っています。この活動は毎年行っており、ケソン州にある小学校へは4年連続で支援をしています。2013年5月にはノート、紙、鉛筆、ボールペン、傘などの学用品を生徒たちにプレゼントしました。

プタリン・ジャヤでの植樹イベント（マレーシア）

2013年3月2日、Mitsubishi Electric Sales Malaysia Sdn. Bhd. (MESM) は、地球温暖化に対する取り組みとして植樹イベントを行い、従業員とその家族がプタリン・ジャヤ市のコタダマンサラにある公園に30本以上の木を植えました。この活動はプタリン・ジャヤ市議会の支援を受けて行ったもので、活動終了後にはボランティアたちへの感謝の印として、市議会から軽食が振る舞われました。

MESM社長は「地球が温暖化の脅威に直面していることは何年も前から知られていますが、地球環境が改善される兆しはありません。事実、環境問題は日ごとに深刻化しています。MELCOマレーシアは、この植樹イベントによって地球を緑化するお手伝いができ、地球を救う取り組みに参加することができました。地球がより住みやすい場所になることを願っています」と述べ、このイベントが三菱電機のコーポレートステートメント「Changes for the Better」に合致していることにも言及しました。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保全

▶ 科学技術

▶ 文化芸術・スポーツ

財団のご紹介

米国三菱電機財団

概要

1991年に基本財産1,500万ドルで設立した米国三菱電機財団（Mitsubishi Electric America Foundation）は、障がいをもつ若者達が充実した日々を過ごせる社会を目指して活動を推進しています。米国各拠点とのつながりも強く、社員と共に実施する取り組みも活発に行っています。その実績を評価され、これまでにAmerican Foundation for the Blindからの栄誉ある「ヘレン・ケラー実践賞」をはじめとするいくつかの賞を受賞しています。

▶ [米国三菱電機財団のウェブサイトはこちら（英語サイト）](#) 

動画でわかる社会貢献活動
米国三菱電機財団



 動画を見る 

活動紹介

先駆的プロジェクトへの助成

障がいを持つ若者達がリーダーシップや就業能力を高め、社会の中で活躍できるよう、全米の先駆的プロジェクトを助成しています。その支援先プログラムの一例を以下にご紹介します。

連邦議会インターンシップ・プログラム

2002年から、障害者全米協会（AAPD）の連邦議会インターンシップ・プログラムを支援しています。このプログラムでは、毎年、障がいを持つ学生をインターンとして連邦議会事務所へ送り出しており、学生は政策にかかわる仕事をしながら実用的な職業体験を得ることができます。また、障がいを持つ人でも機会があれば働くことができ、社会に貢献できるという事実に対する世の中の認知度を高めるのにも、このプログラムは役立っています。



2007年度インターンシッププログラムの元インターン



2011年春、ワシントンで開催された会議で、障がいを持つ少女達と一緒に活動していくための方法を学んだガールスカウト。

インクルージョンを推進する団体への支援

財団では、インクルージョン※を推進しています。その考えと合致する活動を行う、ガールスカウトなどの団体を支援しています。

インクルージョンとは

障がいを持つ人もそうでない人も、一緒になって地域社会の中で暮らし、充実した毎日が送れるようにすることです。

「障がいのある人を含む全ての人が、学校や地域社会で必要とする個々のニーズに応じた適切な支援を保障され、教育を受けたり生活したりすることを意味する。」

出典：標準社会福祉用語辞典（第2版）

米国拠点社員との連携

「Changes for the Better」の精神で、米国三菱電機各社の社員ボランティアと共に様々なイベントを企画しています。また、社員がイベントで集めた募金に、それと同額を当財団が上乗せするプログラムもあり、1991年以来、当財団は1.4千万ドル以上を米国各地に拠出し、社員ボランティアの活動時間は60,000時間以上となっています。（2014年時点）。以下にその活動事例をご紹介します。

ホールウェイゴルフ

米国三菱電機各社では、若年障がい者の教育や放課後のプログラムへ寄付をするため、2007年から毎年、社員ボランティアによる室内ゴルフ大会を開催しています。会社の廊下や工場の床にミニチュア版ゴルフコースを制作し、取引先に各コースのスポンサーになってもらったり、年間をとおしてのプレイ代を集めたりすることで支援を募ります。



職業訓練

障がい者雇用推進月間の活動として、毎年10月に障がいを持つ学生を対象とした、職業体験を実施しています。多くの社員ボランティアが、この全米的な活動に参加しており、学生には仕事の様子を見てもらったり、実際に仕事を体験してもらったりして、キャリア開発のお手伝いをしています。

財団のご紹介

タイ国三菱電機財団

概要

1991年に基本財産2千万バーツで設立したタイ国三菱電機財団（Mitsubishi Electric Thai Foundation）は、社会福祉と科学技術振興の分野で活動を行っており、大学生に対する奨学金支給や、小学校への給食支援プログラムなどを実施しています。

動画でわかる社会貢献活動
タイ国三菱電機財団



動画をみる

活動紹介

奨学金プログラム

1993年から「奨学金プログラム」として、毎年3つの工学系大学の学生に対し奨学金を支給しています。成績優秀ながら、家からの仕送りが少なく学業に支障がある学生が対象で、タイの科学技術の発展の一助となっています。2012年度からは、更にもう1校が奨学金支給の対象に加わりました。





昼食支援プログラム

1999年から、タイ教育省より推薦された小学校30校に対して毎年各1万パーツを寄付しています。

この寄付により、小学校は野菜の種や苗、肥料などを購入し、子どもたちが野菜の栽培や家畜の飼育をしています。出来あがった収穫物は、それらを育ててきた子どもたちの給食に充てられています。栽培や飼育活動を通じて、育てることの大切さや楽しみも同時に伝えています。



昼食支援プログラムへの長年の功績が認められ、2014年9月25日にタイ教育省 基礎教育委員会事務局（Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education, Ministry of Education）より表彰を受けました。



ボランティア活動

タイ国三菱電機財団のアレンジにより、タイの三菱電機グループ各社は毎年合同でボランティア活動を行っています。

2014年5月31日には、タイに所在するすべての系列会社から参加した従業員ボランティア460人が、ラヨン県のPak Maenam Prasaeにマングローブ4,500本を植樹し、マングローブ蟹400匹を本来の生息地に放しました。シンガポールのMitsubishi Electric Asia Pte. Ltd.や現地の方々もこのイベントに参加しました。

各社は、将来Pak Nam Prasaeで成長したマングローブを見ることを楽しみにしています。また環境にやさしい未来に向けて、地元の皆様と力を合わせて環境保護に取り組む機会が得られたことに感謝しています。



災害支援・復興支援

災害支援

- ▶ 2015年09月29日 [台風18号等による大雨災害に対する支援について](#)
 - ▶ 2015年05月08日 [ネパールで発生した地震の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2014年10月27日 [平成26年8月豪雨による広島土砂災害に対する追加支援について](#)
 - ▶ 2014年08月29日 [広島土砂災害に対する支援について](#)
 - ▶ 2014年08月11日 [中国雲南省で発生した地震の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2013年11月12日 [フィリピン・台風ハイエン（台風30号）の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2013年04月23日 [中国・四川省地震の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2011年10月27日 [トルコ東部で発生した地震に対する支援について](#)
 - ▶ 2011年10月17日 [タイでの水害に対する支援について](#)
 - ▶ 2011年04月27日 [東日本大震災の被災者及び被災地に対する追加支援について](#)
 - ▶ 2011年03月14日 [東北地方太平洋沖地震の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2010年04月26日 [中国青海大地震の被害に対する支援について](#)
 - ▶ 2010年03月12日 [チリ地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ [2009年以前の災害支援情報はこちら](#)

復興支援

- ▶ [どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援](#)
2012年2月から、東日本大震災の被災地に寄り添い、継続して復興を応援する取り組みとして、被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています。
- ▶ [震災遺児および被災地の子どもたち支援について](#)
- ▶ [スポーツチームによる復興支援](#)

2009年以前の災害支援情報

2009年以前の災害支援情報

スマトラ島沖地震の被災者支援（インドネシア）

2009年9月30日（水）に発生したスマトラ島沖地震の被災者へ、Mitsubishi Electric Automotive Indonesiaは義援金をおくりました。この義援金により、家を失った被災者に仮設住宅を提供することができます。2010年1月8日（金）までに、約1,005戸の仮設住宅が西スマトラ政府へおくられています。

今回、Mitsubishi Electric Automotive Indonesiaはおおよそ5,000ドルを寄付し、従業員からもおおよそ200ドルの寄付が寄せられました。

台風8号の被災者支援（台湾）

2009年8月、台湾は台風8号（マラコット）に襲われ、その暴風雨による大規模な土砂崩れと深刻な洪水に見舞われました。台湾南部では、土砂崩れにより村がまるまる一つ埋まってしまった事例もあります。従業員達から寄せられた金額（自分の一日分の給料と同額を寄付）を合わせて、三菱電機台湾はおおよそ106,000,000円をおくりました。また被災者のために、損傷したエアコンやCNC製品（コンピュータ数値制御装置）の低額での修理を申し出ました。

岩手・宮城内陸地震の被害に対する支援について（東北）

三菱電機株式会社は、2008年6月14日（土）に発生した岩手・宮城内陸地震被害への支援として、三菱電機株式会社で総額500万円の支援を行いました。

三菱電機 中国・四川大地震の被害に対する支援について（中国）

三菱電機グループは、2008年5月12日（月）に発生した中国・四川大地震被害に対する支援として、総額約5,000万円（救援物資の提供を含む）の緊急支援を行いました。

新潟県中越沖地震の被害に対する支援について（新潟）

三菱電機は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震被害に対する支援として、総額1,000万円（救援物資の提供を含む）の緊急支援を行ないました。

能登半島地震の被害に対する支援について（能登半島）

三菱電機は、2007年3月25日に発生した能登半島地震被害に対する支援として、石川県に義援金100万円、救援物資として洗濯機20台と乾燥機10台を提供致しました。

福岡県西方沖地震における義援金・物資の寄贈（福岡）

2005年3月20日に発生した福岡県西方沖地震で特に被害が大きかった玄界島被災住民の方々の仮設住宅向けに、義援金百万円と義援物資（洗濯機50台）を福岡市に寄贈しました。

これを機に防災対策を強化し、その対策の一つとして防災用品（ヘルメット、毛布、飲料水他）の社内配付を実施しました。

スマトラ島沖地震及びインド洋津波災害に対する支援について

三菱電機株式会社（執行役社長：野間口 有）は、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震及びインド洋津波災害への支援として、三菱電機グループで総額約5,000万円の支援を行うことを決定しましたのでお知らせします。今後も引き続き支援を検討してまいります。

社を代表して、新潟県中越地震のお見舞いを贈呈（新潟）

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震に際しては、当社として1,000万円の義援金および石油ファンヒータ400台を、新潟県災害対策本部に対し贈呈しました。

また、三菱電機ソシオルーツ基金は、社員からの寄付1,174万円と同額をマッチングさせ2,348万円を寄贈しました。

どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援

被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています

三菱電機は、東日本大震災の被災地に寄り添い、継続して復興を応援する取り組みとして2013年2月から被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています。

現在、社内で募った約1,400名の参加者が、苗木の育成に取り組んでいます。育成期間は3年間で、北海道から沖縄まで、全国各地で社員やその家族が苗の成長を楽しみながら被災地に思いを寄せています。また、活動をとおして生物多様性保全への理解を深めることもできます。

被災地のどんぐりを育てるプロジェクトとは

林野庁が進める「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に関連した、公益財団法人日本環境協会等が実施する活動です。被災地で拾ったどんぐりを植樹可能な大きさの苗木になるまで全国各地で育て、現地に送り返して植樹することで被災地の海岸林や緑地の再生をめざすものです。

東日本大震災の津波では、岩手・宮城・福島などの広大な海岸林や、公園や学校などの緑地が大きな損傷を受けました。その回復のためには、これから何年もかけて何百万本もの植樹を行わなければなりません。誰もが参加できる本プロジェクトは、被災地の「緑の復興」を支えるだけでなく、全国から送られてくる沢山の苗、再生していく緑で被災地の方々に勇気づける「心の復興」にもつながります。



<関連ウェブサイト>



- ▶ [プロジェクトD - 被災地に緑と心の復興を!](#)



- ▶ [林野庁/「『みどりのきずな』再生プロジェクト」における民間団体との連携](#)
- ▶ [公益財団法人日本環境協会 - Japan Environment Association -](#)

取り組み風景



昨年引き続き2014年3月にも
当社社員が被災地で拾った
どんぐりを配布しました。

全国でいろいろなどんぐりが育っています。



スポーツチームによる復興支援

スポーツを通じて、東日本大震災の被災地のみなさんに元気をお届けしています。

▶ [当社スポーツチームによる社会貢献活動はこちら](#)

バスケットボール



当社バスケットボールチーム「三菱電機ドルフィンズ」と「三菱電機コアラーズ」は、宮城県でのクリニックを震災直後に再開し、毎年継続して行っています。参加することもたちは、チームのコーチや選手と一緒に、基礎練習やフリースロー大会、選手との交流試合、サイン会などを楽しんでいます。

▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports](#)
(男子・女子バスケットボール)



テニス

当社のテニスチーム「三菱電機ファルコンズ」は、「テニスを通して元気になろう」をテーマに宮城県と福島県でクリニックを行っています。当社所属の仙台出身プロテニスプレイヤー、杉田祐一プロをはじめとするメンバーがコーチとなり、参加者とともに汗を流しています。

▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports](#) (テニス)





アメリカンフットボール



東日本大震災の復興支援ボランティアとして、東北でアメフトパワーを活かした活動を行っています。

2012年には、宮城県の南三陸歌津地区で土嚢づくりや丸太撤去などを行い、仮設住宅でチアリーダーのダンスパフォーマンスを披露しました。

2013年には福島県いわき市にて、耕作放棄地を活用したオーガニックコットン畑での雑草除去と整地作業を行いました。津波被害を受けた道の駅や復興商店街でのチアリーダーのダンスパフォーマンスも、地元の皆様に喜んでいただくことができました。

2014年も、昨年と同じいわき市内のコットン畑で除草作業や整地、苗の植え付けを行い、津波被害を受けた小名浜市内の総合モールでチアリーダーによるパフォーマンスを披露しました。

選手やスタッフ、チアリーダーにとって、復興に向けて懸命に取り組む地元の方々と交流を持てる貴重な時間となっています。

- ▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports](#)
(アメリカンフットボール)

東日本大震災への対応

2011年3月11日に発生した東日本大震災で被害を受けられた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。
三菱電機グループでは、被災された地域の復興や、被災者の皆様を支える活動を継続して行っており、被災地の1日も早い復興を心からお祈りしております。

「事業を通じた活動支援」

- ▶ 福島復興に向けた世界最新鋭の石炭火力発電所プロジェクトの推進に関する基本合意書の締結について
 (PDF : 254KB)
- ▶ 三菱商事の「小名浜太陽光プロジェクト」向け太陽光発電設備を竣工
- ▶ 東北支社の取組

「社会貢献活動」

- ▶ どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援
- ▶ 震災遺児および被災地の子どもたち支援について
- ▶ スポーツチームによる復興支援

これまでのあゆみ

1990年9月	社会貢献活動委員会設置
1991年2月	米国三菱電機財団設立
12月	タイ国三菱電機財団設立
1992年4月	マッチングギフト制度「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」設立
1993年7月	経済広報センター「企業広報賞」受賞
9月	タイ国三菱電機財団 奨学金プログラムスタート
1994年4月	中津川製作所ボランティアクラブ（MVクラブ）立ち上げ
1996年4月	稲沢製作所ボランティアクラブ（MIVクラブ）立ち上げ
4月	ヘルスケア・ボランティア休暇制度導入
9月	米国環境保護庁（EPA）Best of the Best賞受賞
1998年6月	群馬製作所ボランティアクラブ（MGVクラブ）立ち上げ
1999年1月	タイ国三菱電機財団「小学校昼食支援プログラム」スタート
2000年5月	米国三菱電機財団「2000年度ヘレン・ケラー実践賞」受賞
9月	日本赤十字社紺綬褒章受賞
2002年8月	中国青海省情報センター寄贈
2003年5月	富士山育林ボランティア活動開始
2004年7月	昭和天皇記念献血推進賞（日本赤十字社）受賞

2007年10月	愛知県「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
10月	社員参加型の全社的活動「里山保全プロジェクト」を開始
2008年3月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」寄付金累計5億円突破
3月	兵庫県丹波県民局「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
6月	中津川市「根の上 生きた自然公園」づくり協定締結
6月	岩手・宮城内陸地震被災地支援
2010年6月	高周波光デバイス製作所・里山保全プロジェクト参加
7月	下御領生産森林組合、広島県東部森林組合と「神辺四季の森づくり」協定締結
8月	科学技術振興のためのプログラム「科学教室」への取り組みを開始
2011年8月	東日本大震災の震災遺児等への支援を開始
2012年4月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」が設立20年
2013年2月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」の活動に対して社会福祉法人中央共同募金会様から感謝状
3月	熊本県合志市と「河川清掃活動協定」締結
3月	「特定非営利活動法人 相模原こもれび」と「木もれびの森の保全活動協定」締結
4月	「鎌倉市遊休農地解消対策実践活動協定」締結（神奈川地区全事業所）
4月	住友林業株式会社様から富士山育林ボランティア活動継続10年に対して感謝状
4月	広島県と「森林保全活動に関する協定」締結
4月	「特定非営利活動法人 海辺つくり研究会」と里山保全活動に係る協定締結
2014年3月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」寄付金累計10億円突破
6月	「東京都海の森倶楽部」参画
2015年2月	広島校区連合自治会と「里山保全活動協定」締結
4月	宮城県と「わたしたちの森づくり事業実施協定」締結